京城日報

二十六日夕刊 (朝夕刊と併せて八頁)

發行所 京城太平通一丁目 京城日報社
發行兼編輯人 [illegible]
印刷人 小川三之介
[illegible]

時間表
[illegible]
十一月一日現行

◎巴里市城砦準備

萬一の必要生じたる場合巴里市をして城砦たらしむ可き一切の準備講ぜられ居れり尚市民は自家の餘裕ある間に避難す可きを勸告されたり(巴里電報)

◎墺軍の總退却

墺軍は今や總退却を爲しピ河中流附近及びモンテロの形勢は舊狀に復せり(巴里電報)

◎墺內閣總辭職決議

維納來電＝墺太利內閣は二十三日の閣議に於て總辭職を爲すに決したり(アムステルダム電報)

◎墺國民飢餓に苦む

米國々務省の發表に曰く『墺國民は本年八、九月の交に於ける新收穫迄は救濟を受くる見込なく總ての點より見て人民は夫迄飢餓に甚へ得ず』と(紐育電報)

◎米運送船陸兵輸送

某所著電に據れば二十四日朝米國運送船一隻馬尼剌より多數の陸兵を搭載し浦鹽に入港せりと右に就き信ず可き筋の解釋に依れば之は米國運送船ローガン號が西部戰場に輸送すべき馬尼剌陸兵を搭載し北支那に回航し某地點より若干の英兵を又釜山に於て若干の伊太利兵を搭載し重要品積取の爲め二十四日浦鹽に入港せしものにて同船は二十五日午前五時拔錨米國に向け發航せし筈なりと(東京特電)

◎佛相日本出兵賛成

日本の西伯利出兵問題は又復重要視せらるゝに至り佛國外相ピシヨン氏は米國大統領ウイルソン氏に聲明書を送り主義に於て日本の西伯利出兵に賛成なりとの意見を述べたり出兵問題の解決大に有望となりつゝあり(倫敦電報)

◎レニン辭意聲明

レニンは辭職の意あることを言明せり(巴里電報)

◎北方總司令部設置

今回奉天、吉林、黑龍江督軍と參戰督辦公所と商議の結果北方總司令部を黑龍江省黑河に設置する事に決せり(北京特電)

◎四鄭鐵道延長借款

支那政府は四鄭鐵道の延長を計畫し日本と借款の商議を開始したりと確聞す(北京特電)

◎陸軍異動銓衡

大島陸相、上原參謀總長及び一戶教育總監は二十五日午後三時より陸軍定期異動に關する銓衡を爲したり(東京電報)

◎期米買方狼狽

大阪堂島期米大暴落にて買方關出動の說あり買方狼狽せり(大阪特電)

◎代議士團著奉

澤來太郎氏を團長とする代議士團一行は廿六日大連より來奉二十七日北京に赴く豫定なり(奉天特電)

◎代議士團一部南行

「朝鮮滿視察代議士團」一行中の磯部尚氏外四名は廿六日午前七時二十分安東通過南行せり(安東特電)

◎有賀課長著阪

朝鮮殖產銀行設立準備の爲め總督府度支部理財課長有賀光豐氏は二十五日來阪せり

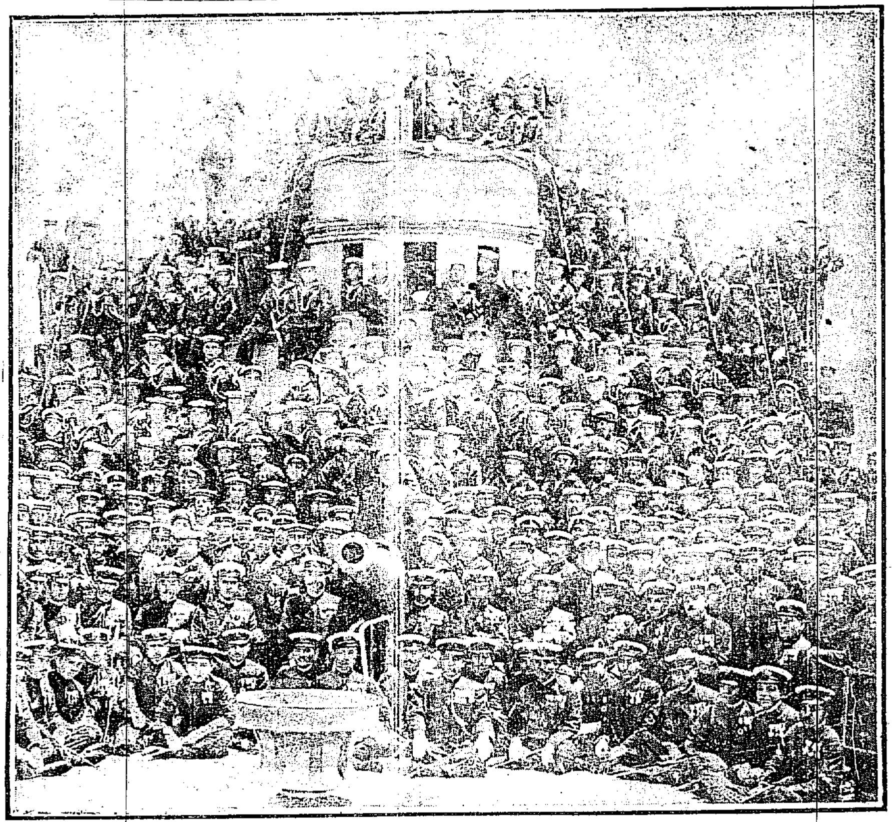
◎金融組合令改正

金融組合令中改正の件廿七日附總督府官報制令を以て公布さる可し

◎二部長會議日程

第二部長會議は二十七日より三日間總督府第二會議室に於て開催の事は既報の如くなるが其日程左の如し

▲第一日(二十七日)午前九時より正午迄總督訓示稅務に關する指示午後一時より同四時迄稅務打合▲第二日(二十八日)午前中理財に關する指示午後前日同斷▲第三日(二十九日)午前中稅務打合午後前日同斷
尚議事は度支部長官之を整理し關係部局長官其他職員列席す可しと



◇地中海にて活動しつゝある日本驅逐艦隊乘組將校下士水兵の一團

◎移入果樹苗檢查

朝鮮果樹栽培の經營發達に伴ひ之に要する苗木は成る可く朝鮮內にて生產する方針を執り居れるも山林田樹苗の生產に追はるゝ爲め果樹苗の生產微々たるを以て其大部分は之を內地より仰がざる可からず昨年五月より本年四月迄滿一箇年間の移入果樹は總數百九十八萬一千九百三十一本にして內最も多きは梨苹果桃杏葡萄柿梅櫻等なるが三等移入苗に對しては各稅關に於て夫々制規の檢查消毒を施し居れるも內地官公署の檢查證明あるものは朝鮮內の消毒を省き無檢查移入を許可し居たるに往々此內より病蟲害を有するものを發見し內地の實情を調查したる結果檢查證明は殆んど形式に流れ事實何等の効力なきを發見せしかば今回內地の證明は一切之を認めず全部の移入果樹苗に對して嚴重なる消毒檢查を行ふ事とせりと

◎東拓所長會議(第三日)

東洋拓殖會社京城支店の出張所長會議第三日は二十六日午前九時より引續き會議室に開會日程により川上理事の指示注意並に事務の打合せを行ひしが松平理事、支店各課長參事等參席したり

◎大倉男退京

滿洲地方の視察を了り此程入京せる大倉喜八郎男は廿六日朝南大門發列車にて退京南行せり

◎立花師團長出張

六月廿九日より七月四日迄六日間平壤步兵第七十七聯隊教育期間第二期の檢閱施行に付視察の爲立花第十九師團長は黑坂參謀大沼副官を隨へ二十九日同地方に出張すべし

◎芳賀醫院長東上

芳賀總督府醫院長は陸軍省と事務打合の爲め二十五日附を以て東京へ出張を命ぜられたり

◎電氣瓦斯値上是非

炭價値上による經費增加＝その全部を需要者に轉嫁せんとする京城電氣＝電燈料は現在に於て甚だ不廉

＝某消息通談＝

京城電氣會社は滿鐵より七月一日以降その燃料炭一噸に付約四圓九十錢を引上げられ、半期の間に九萬圓弱の支出增を餘儀なくされるからと云ふのを主要理由とし、近く監督官廳に電氣各料金約一割方引上げ認可の申請を行ひ更に同時に瓦斯料金の値上げを斷行し半期に八萬餘圓の收入增を圖らうと云ふ事に極つたらしい

▽不當なる電燈値上

豫算は會社が噸十三圓九十錢もする撫順炭を使はねばならなくなつた事と、そのため半年の間に九萬圓もの失費を增すに至り會社經營上の困難大に加重せる事は之を認むる、乍併その增加經費の全部を需要者に負擔せしめやうとする會社の措置は獨占事業であり

▲天下の公道 を使用し半ば以上公共的の性質を帶ぶ京城電氣會社の出づべき正道であるか否かは大に議論の餘地を存するものと思はざるを得ない、更に會社の中堅事業であり最も一般的に關渉を有せる電燈の成績は現在に於て甚だ佳く當に値下の要請を當局や市民から受けてゐたのであつて今回炭價の値上に會つても恐らく電燈のみから曰へば會社の配當率たる年一割の持續は優に可能なりと信ぜらるゝのであるから、結局電燈の値上は瓦斯並に電車の

▲收益減を補塡 する事となるべく斯ては上下を通ずる多數の電燈需要者から收めた收益金で概ね中流以上に限られてゐる瓦斯引用者並に多く交通を利用する電車乘客を補助すると云ふ事になつて ふ論斷より電燈値上(電力は除外)は失當と斷ぜざるを得ないのである、電車も今日の料金は甚だ高率であるのと成績も相當に擧つてゐるからその賃率引上は市內交通上より見る俄に首肯し難い、唯瓦斯と動力用の電氣は今日の場合低率の引上は止を得ないであらう、斯して會社は

▲炭價引上 による支出增の一部を瓦斯並びに電力引用者に課し、一部を會社內部の整理並びに止を得ずんば配當の減少若くば興業費低減(前期に於て七萬圓を計上しあり)をやるなりして兎に角此炭價暴騰時代を切り拔くるの策を講じたら如何であるか少しく電燈料引上不可理由併電力瓦斯値上に對する卑見を述べやう

▽極めて不廉

京城電氣會社の電燈料は現在高いか安いかと云ふに事實極めて不廉である、今日十燭光の一箇月料金は九十錢であるが之れに器具損料と云ふ俄に首肯し難い者(電球代は別にとる)を十錢宛徵するから

▲結局月一圓 である、然るに內地主要の四十八會社の最近の料金(水電を除く)を調べて見ると最低十燭五十五錢最高九十五錢で平均は七十二錢であるとなつてゐる、乃ち京電の料金は現在に於て最高より五錢高く平均に比すれば二十八錢、最低に比せんか實に四十五錢高となつてゐる、然も最高の九十五錢と云ふのは山陰道松江かドコかの石炭を得るに非常な不便の場所であり、コレは異例なのである、京城と比較すべき大阪神戶京都地方の料金は七十錢內外である、乃ち京城は僅に三十錢高くなる勘定である、然らば一方諸經費も京城はその率で高いかと云へば、然らず先づ石炭の一噸當りは京阪神電氣會社と略同一若くは京城は稍安いのである、コレは頗はしい爲め殊に阪神各會社の

▲買炭價格 を擧げぬが京城電氣當局も認めてゐるのである、然らば勞力は如何と云ふに事務に從事せる社員は京城が高からう、然し勞働者は京電の多く鮮人を使役せる點より觀て內地より高くつく筈は斷じてない、彼此相殺略同じく率と見て差支へはない、その他營業上の各品は幾許か內地より高率であらう、又興業費も京仁馬鐵の電燈費に三百餘萬圓を投じて居り、幾分內地より高くついてゐるやうだ、然も此の兩者の理由により阪神の電燈に比し十燭光四十錢約六割高とするのは如何なる點より觀るも不法なりと思はるゝ、今日の三十錢高が既に

▲高率に過ぎ てゐるのである、況んや前述の如き相當以上の收益を電燈事業に見られつゝあるに於ておや、若し夫れ他の諸物價が暴騰の際であるから、電燈の値上をなすも當然なり、と云ふが如きは會社の性質を沒却せるものであり、又今日まで諸物價高騰以上に電燈料が高率であつたと云ふ事を算盤に入れぬ議論であつて一顧にも値ひしないのである、又電球の取替へも內地に於ける電氣會社の如く全然四百五十社中京城電氣の如く需要者負擔とせるは極めて少數である、乃ち

電球會社負擔	二一六社
同一部會社負擔	一三四
需要者負擔	一〇一

此點に於ても京城電氣の料金は高いのである、京電會社はいかなる點から電燈値上の必要を主張するのであるか、渺たる議論でなく之れを內地に比し又數字上よりの說明を聞きたいものである

▽電動力と瓦斯

唯京城電氣が動力として各種事業に供給しつゝある電力料金は一キロワット時最低二十五錢を徵し內地の平均率十八錢に比し

▲七錢高 を示してゐるけれど、此の若干率の引上は止むを得ないからうと云ふ結論を生むやうである、如何んとなれば事業家は電力を用ゐぬ場合石炭によらねばならぬ、然るにその石炭は非常な暴騰であり、更に事業家が電力の供給を受けて生產した商品並に諸機械類は何れも頗る高騰してゐるからである、此點に於ては事業家の苦狀は少ないであらう、又負擔し得らるゝ事と思はるゝ、更に瓦斯はその投資額百七十萬圓强を算してゐるのに收入は半期十四萬圓內外それから經費を引けば現在の收益狀態は三分內外にしか廻つて居まい、殊に瓦斯は最も多く石炭を要するから炭價が騰れば一層打擊を受くるであらう、而してその料金も之れを

▲大阪や神戶 に比し略同率であるのとその引用者が概ね中流以上であつて料金の負擔力も恐らく苦しくなからう、此點に於て瓦斯代金の引上も少額は止むを得まい、然し會社は瓦斯引上による需用者の薪炭移動を恐るゝため當上により收益減を塡めやうとしたらしい、コレは收れる所からは無理にでも收められる丈け收めて需要減少の虞れある瓦斯の方は手をつけまいと云ふ遣り方とみるべく予覺の到底首肯し難い所であり會社が果して世說の如支出增を全部需要者に嫁すべく電燈瓦斯全部に亘つて値上の申請をなすか否かは注目すべき問題である

◎支那縱談

芳澤參事官語る

北京公使館參事官芳澤謙吉氏は家族同伴二十五日釜山着同日夜東上したるが氏は往訪の記者に語つて曰く

今回歸朝を命ぜられたるは何等意味あるものに非ず又多少の公用は帶び居るも左したる事も無く用務終了の上は暫時滯在の上八月上旬東京出發歸任の積りなり目下の支那は南北の爭ひと共に渾沌時期なり、本月十四五日頃より參議院及び衆議院議員の選擧期に入りたるが七月中旬には選擧も終結を告ぐるを以て其の上國會の開催となり十月十日總統の選擧を行ふべし、惡總統は

▲再選を欲せず と放言し居れども其の眞意如何は斷じ難し世には南北の妥協は到底望む可くも非らず且つ北方に戰意なく南北に妥協の意思なしと觀測する向きもあれども過般來段內閣の方針を見るに北方に討伐の意思なしと見るは之れ再考すべきに非らざるか段內閣は曹錕を廣東、廣西、四川、湖南各省の經略使に任じ討伐を持續し且つ督勵しつゝある曹督軍を經略使に任命したるは或は表面に於ける名義のみに止まるの觀無きを保し難きも幕下吳佩孚、徐樹錚の兩氏は相當機略を有する人物にして且つ專ら

▲其任に當り 居るを以て益々討伐を持續し且つ急ぎつゝある北軍は益々前進して湖南方面に進み福建省の北軍は廣東を襲ひ汕頭の陷落を見るに至れり、尙目下は議員選擧の際なるを以て一定の期間內にて廣東外西南四省の討伐を最も急ぎ而して之等の各省を選擧區域に編入すべき意嚮あるものと見て差支なかるべし果して北方が其の意思の如く南方を徹底的に討伐し得ると否とは現在に於て之れを豫測する能はず少くとも出征將卒の倦怠と奉天軍を中堅とせる北軍が暑氣と戰ひ山間僻地の戰爭に馴ざると洪水等の天災時機を

▲眼前に控へ居 る事は北軍の不利とも謂ふ可し借款が南方討伐の費用に充當せられつゝありとは南軍の總て公言し居るところなるも其の眞相は斷言する迄の研究を重ね居らず、要するに吉長鐵道にせよ或は電信借款にせよ或る程度迄の調查は爲したる筈なり、無論將來に於ける支那經濟の統一は帝國と密接なる關係あるを以て相當の注意を拂ふ可き必要あるべし(釜山)

◎東拓の懇親宴

東拓京城支店にては二十七日午前七時より淸華亭に懇親宴を開き支店在勤者並に各出張所長等會同する由

□江界滿浦鎭より

六月二十日　黑板勝美

新安州より淸川江の流れを溯る四日狄踰嶺を越ゑて、禿魯江の支流に出で、江界を經て昨夜滿浦鎭に着せしと申す鴨綠江岸に出で申候、途中風景佳し旅行のつらさを忘る、此より通溝に至り好太王碑の調査にかゝり可申候

□大倉鶴彥男の近什

京城にて
東京の富士京城の南山はひとしく都市を飾る背景

萬里の長城を見て
雄大の規模は萬里に連りて氣宇を千古に殘す長城

◎市川參謀長出張

第八十聯隊大田分隊教育期間第二期檢閱視察の爲め市川軍參謀長は古城副官を隨へ廿六日朝龍山發列車にて大田へ向け出發せり歸任は廿八日の豫定なり

◎三代議士入京期

支那方面視察中なりし衆議院議員磯部、川口、井戶の三氏は二十六日平壤の視察を終へ二十七日午前八時大門驛發列車にて入京巴城館に入り一泊の上歸國の筈なるが中村衆議院書記官も同行の筈なり

◎川上理事張宴

川上東拓理事は二十六日午後七時より目下會議のため入京中の各出張所長を花月に招待張宴せしが松平理事並に支店從岡足立關屋米山二宮各課長參事等も亦列席したり

人事消息

▲城崎謙藏氏(滿鐵販賣課長) 廿六日朝退京
▲伊集院俊彥氏(三等主計正) 軍經理部附として廿五日午後四時五十六分着任
▲植原悅子 二十六日朝釋王寺へ旅行
▲鹿江深次郞氏(實業家) 內地旅行中の處二十六日朝歸京
▲[illegible]氏 廿六日朝歸京
▲川崎紫太郎氏(鑛務課技師) 地質調查の爲め咸鏡南道管內へ出張中の處二十四日歸[illegible]
▲三木進一郎氏(咸南道事務官) 二十七日[illegible]南大門發赴任の筈
▲今泉會計檢查官一行 二十五日午後仁川より入京
▲郡山總督府會計課長 廿五日仁川より歸[illegible]
▲矢島全南道第二部長 二十五日午後入京[illegible]尾へ ▲楠井慶南第二部長同上 ▲井上忠北[illegible]二部長同上不知火 ▲富永平南第二部長[illegible]山本 ▲小松平北第二部長同上小原長官[illegible]へ ▲佐藤咸南道第二部長二十六日朝入京[illegible] ▲松本慶北道第二部長同上 ▲八島全[illegible]第二部長同上
▲淺井佐一郎氏(漢銀平壤支店長) 二十五[illegible]午後退京
▲高野省三氏(三井支店長) 二十五日午後[illegible]壤より歸京
▲藤田藏臣氏(九州硝子會社長) 二十五日午[illegible]後內地へ

茶前酒後

○過激派漸次失勢すと報せられ首魁冷人の伯林行は其對處策也とも傳[illegible]
○然も露國の事今日總て噓言か眞か分らず全く手術を見るが如し
○現今世界中手術使の上手は獨國[illegible]と支那也獨逸の手術は危險の伴[illegible]
○其手術の種となりし墺國は宛然辣な女郎に引懸りし愚息と同樣
○絞れる丈け絞られた後はお定まり[illegible]の流石日が醒める時分には自滅か
○不平を轉換せんとせし對內作戰も見事伊太利軍の爲に散々な失敗[illegible]
○其れも其筈一人一日の麵麭僅か九十瓦流行の暴動化するも自然也
○近時我國にても出產率の減退[illegible]也となる出產率は文明と相反が如[illegible]
○歐洲にて出產率の最高は露國[illegible]那も出產率の最高は[illegible]
○獨逸の人間より取る油は甘[illegible]の人間より三貫目を搾取すと云[illegible]
○日本人は平均十五貫として三[illegible]五百匁の油を取り得とは地獄沙汰

多情多恨の青年飛行家　佛國で戰死した小林氏

悲しい事があると琵琶を抱いて東山へ登り得意の歌曲に紛らはした　實父は貧しい老神官!!

佛國戰場に於て名譽の戰死を遂げた故小林祝之助氏と昵近者であつた京城大和町曾谿寺永村和尙を訪へば『小林君が戰死したと言ふ事は京城日報で見て驚きました、小林君は今年二十四五歲で風采の

◇立派な男　であります、家庭は繼母があるため何となく面白くないやうに見ゑました、それからぬか消和中學校も中途で退學してぶら〳〵して居ましたが時々乘鉢な心を起すやうな事もあつたさうですがどちらかと言へば多情多恨の方で何か悲しいことでもあると琵琶を抱いては東山に登り山上で得意の

◇石童丸や　常陸丸など弾ては悒愁を遣ると言ふやうな性質の男でした嚴父の忠一氏は今年七十餘歲の老人で家には小林君の繼母と實姉と異母弟妹が三人許りあるやうに記憶して居りますが何分小さい神社の社司のことゝて家が貧しく小林君が佛國へ渡航する時なども妹さんが

◇交換手に　なつて旅費の端を補はうとした程ですから戰死の悲報に接した時は老人や兄弟の嘆きは甚かつたでせう何でも飛行家になる前までは自動車の運轉手になるんだなど丶言つて居たさうですが

◇荻田氏が　熱心に勸めたので飛行家になつたのでせう人物は優しいが熱血性の人だから佛國航空隊に從軍して居る中は隨分華なしい活動をしたらうと思ひます據歴事を申しては惡いか善いか知りませんが小林君が

◇暗い影の　絡はる家庭に向けられたのは同人のために幸福であつたかも知れません』

勸業債券　月賦販賣取締（二）

警務總監部保安課　馬場警視談

それから第二回月賦金を拂込むと共に營業者より債券番號を通知し引續き月賦殘額を拂込む迄に該番號の債券が當籤したるときは其の割增金を購買者に與へるのであるが其の契約の上では月賦金の全額拂込迄番號を通知したる債券の所有權は購買者に移るも更に之を

▽買物として　營業者に預つて置くのであるか又は月賦金を殘らず拂込むまでは所有權を移さないのであるか其明瞭ならざるものが多い假りに之を孰れとするも營業者は第二回の月賦金拂込と同時に番號を通知したる債券を確實に持つて居るかと謂ふに必らずしもそうでないそれでは資金を固定せしめ營業上の收支を維持することが出來ないから空の番號を通知して置き若しも此

▽番號に當籤　したるときは其金額丈を營業者に於て負擔する覺悟で自分の懷から購買者に與へ若し又當籤せずして契約完了したる時には同種類の番號の違つた代券を交付する場合があつて近頃は此空番號より變化して實際通知したる番號の債券を持つては居るが同一番號を數人に通知し所謂二重番號の方法で矢張同樣の目的を達して居る即ち假裝番號の債券にて割增金附償還當籤を標準とする割增金附償還と同額の金員を豫定として事實は之と同額の金員を營業者より購買者に與ふる結果となり

▽射倖行爲に　屬する次第で一種のあつて購買者も亦眞面目に債券買入の意思なく只一二回の月賦金拂込に依りて割增金額を得んと欲する者にて當籤せざるときは中途にて掛捨を爲す者多く營業者の懷を肥して居るので其の處に弊害の尠くないのである

東京相撲初日開場

二十七日明治町東拓前空地にて

▲一行乘込　凰、千葉ケ崎一行の東京大相撲は愈々今二十六日午後七時四十分南大門驛着列車にて京城に乘込み來るべく驛には大相撲關係者、サッポロビール會社、花柳界連中を始め大潮の爲めに組織せられたる大潮後援會にては會旗を押立てゝ大潮の乘込みに景氣を付くるべし

▲前景氣盛ん也　三券番札幌その他團體觀覽多し

今回乘込みの東京相撲中には凰、千葉ケ崎、大潮、三杉磯等を始め西方の主將副將並びに中堅の花形力士を網羅し居れるため各方面の人氣は頗る旺盛にして棧敷の申込み等も非常に多く大口として總督府、李王職、朝鮮銀行、東拓、三井物産、サッポロビール、大潮後援會等にて五日間買切となり居り、此の外各方面の團體觀覽申込みも多數あり初日にはサッポロビール會社の數十名、京城券、中券、新券三券番藝妓の總見等ありて場內は大いに色めき亙るべし

▲積箱繪門景氣よく　完備した相撲場

初日を明日に控へたる明治町東拓前の相撲場にては西田、伊藤の兩勸進元、吉田サッポロビール京城出張所長はそれ〴〵係員を指揮して內外の裝飾を爲さしめたるが入口に設けたる高さ五十尺餘の大櫓にはサッポロビールと黑く染出したる布を捲きつけ、木戶口にはアーチを造り積箱を爲して盛んに景氣を添へ相撲場の內外には何れも夏向きの氣の利きたる、あつさりしたる裝飾を爲し大いに後援振りを見せ居れり

▲大潮の人氣　筑後柳川出身者を以て組織せる大潮後援會にては五日間を通じて大潮のために棧敷を買ひ切り日々總見を爲して大潮が出場するや大潮のために『フレー〳〵』を連呼して盛んに聲援する外大潮力士名及び定紋を彫刻せる大銀盃を贈るべくその銀盃は既に出來し明治町田中時計店の陳列棚に陳列し濶くべく尙は筑後出身者以外の人にして後援會員たらんとする向きは同會事務所なる本町消光館內小田榮氏まで申込むべしとなり

▽初日の取組　二十七日開場の東京相撲の初日取組は左の如し

（福）知山（伊）達錦（龍ケ峯（鶴ノ海
小田ノ山（前）砂岩（淺ノ山（若葉山
（大）淀（小牛田山（錦島（白岩
玉ノ川（花）代潟（大岬（三杉磯
（大）潮（琴ケ浦（凰
藤ノ川（千葉ケ崎（大戶平

△本社番外お好み相撲
（大）潮（琴ケ浦
▲決勝五人拔き

開場を待つ東京相撲場

西出清氏の宙返り　札幌、鹿兒島間を飛ばん

新歸朝の飛行家西出清氏は近く大阪築港にて最初の宙返り飛行を爲し更に機械購入の爲め渡米すべく歸朝の上は札幌、鹿兒島間の大飛行を爲す決心なる由（大阪特電）

寺洞炭坑の椿事　瓦斯爆發に非ず

平壤鑛業所寺洞炭坑の椿事につきては一部夕刊既報の如くなるが其の詳細を聞くに現場は事務所より約一丁の南方坑口の本鉚より約百五十間下り枝となれる第三片を四百尺進みたる所にして空氣流通の關係に坑內に瓦斯發生したるものにて別に爆發したる譯に非らず然し是れが爲め同所にて從業中なりし內地人（採炭監督）十六名及び採炭中の朝鮮人夫十五名は忽ち瓦斯に中毒し悉く卒倒したる騷ぎに鑛業所員、所屬醫務官等馳けつけ直ちに應急救助を施したる結果二十九名は間もなく元氣を回復せしも鮮人人夫二名は遂に蘇生せざりしと尙損害額其の他は目下取調べ中なり

女驛夫　中國鐵道の試み　成績が良い

中國鐵道にては目下女驛夫を試驗的に採用しつゝあるが成績良好なり（大阪特電）

兩親を斬る　母親は即死す

島根縣簸川郡日御碕村江角文之助三男健吉（二八）は二十五日兩親に斬付けたるが母親は即死せり（松江特電）

讐討の積りで豹狩　婦人子供まで總出で活動

山本唯三郎氏が虎狩した咸南の山奧

咸鏡南道高原郡は前年山本唯三郎氏が第一回の虎狩を行つた所で深山幽谷から虎の嘯ぶきが每夜の様に聞ゑ冬季などは家畜の咬殺さるゝ數も尠くないと言ふ物騷な土地である

最近は豹の横行跋扈甚しく之がために居住民は戰々兢々たる有樣であるから憲兵隊では附近住民を督勵して去十八日以來雲谷兩地方を第一區とし山谷面乾川里附近を第二區として狩立てた結果豹數頭等十數頭を捕獲したが同方面は奇岩重疊して進退自由ならざる關係上屢々豹の群集を逸したとの事で然し同地方被害者族親戚は婦女子に至るまで今日こそは復讐の時であるとて總出となつて立働いたため近來稀に見るの大獵狩であつたと

外人八十名の上陸禁止

廿五日浦鹽より神戶に入港せる某國汽船乘客八十名の外人は旅行券無き爲上陸を禁止されたり（大阪特電）

電車事故頻々

二十五日午後十一時五十分頃京城電氣會社の七十四號電車が南大門通二丁目を進行中黃金町三丁目居住大工寺田榮太郎（二六）は酩酊して車前を橫切り電車に觸れて顏面頭部共に輕傷を負へり▲同日午後七時五十分頃市內大門通にて一臺の電車故障を起して立往生し同八時二十分頃運轉せり▲同日午後六時十分頃七十號電車が龍山に向け南大門通二丁目を進行中モーターに故障を生じて車輪を破損したる外乘客に避難手金被傷（二二）は顏面を負へり

滿洲の野球戰　法制大學對滿鐵　滿鐵團勝つ

法制大學對滿鐵野球試合は二十五日午後四時より開始されしが零對二にて滿鐵の勝に歸せり（大連特電）

金光教大祓ひ

永樂町なる金光教京城教會及び南米倉町の南大門教會の兩所にては共に來る三十日午後八時より兩大祓式を執行し終つて各祓ひ事に供したる人型は之を漢江の新橋上より清流に投じ御禊の式を取り行ふ由

女碁客歸る

女流碁客喜多文子女史は四段は秘藏弟子有段者の爲め碁の爲め來釜し特に本社の爲め京城に於て妙技を振ひたるが二十五日夜初段岡田ヒデ子と共に釜山出發の便愛丸にて歸東の途に就きたり（釜山特電）

松原師夫人の遺骨

既報當地若草町本派本願寺松原開教總長夫人の遺骨は廿六日午後七時五十分南大門驛にて[illegible]

お伽巡禮（九）　涙光生

□木浦□

○朝八時疲れた床の夢を覺まして起き出でたが、昨日から少々腹が痛むしてゐるので勝ちがちつともない、朝食も取らない前に吉村校長が來訪される、早速出發だとの事で官署等へ訪問し敬意を表す、十時、校長の紹介で壇に立ち先づ木浦第三以下小學校の兒童千名に合せて五百餘の生徒に二席ほど話したが疲勞した處へ加ふるに腹力のないのでさつぱり聲は出て來ない

○府の學務主任有吉氏、木浦新報主筆長野氏をはじめ父兄多數來聽せられ、十一時過ぎ更に生徒を入れ替へて四年以上高等科女學校生合せて三百餘に對し二席を演じたが中途から呼吸がせまつて話も途切れ途切れになる話しまひには私はもとよりだが聞いてる人達もさぞ苦しかつたらう、十二時半やつと會を閉ちた、府尹の事務主任及校長など女學校諸嬢に送られて旅館に引揚ぐ

○アイシャツは絞り上げるやうにビタ〳〵になつて居る、カラーはシップの繃帶を通してグタ〳〵だ、せつかくの講演會もかうした事情でみんなに滿足を與へる事が出來なかつたのは殘念であつた、本校には昨年春から御伽會が組織され、毎月一回例會が開かれるさうだが、どうして巡遊さんなんか及ばぬ程にお上手な先生がいらつしやると校長さんのお噺

○四時さいふ約束の時間の都合で一時間繰り下げ午後五時から鐵道倶樂部に座を走らせ[illegible]の紹介で家庭講演をなす、約一時間の講演で終り旅館に歸り初めて重荷をおろしたやうな心地で流るゝ汗を湯殿に洗つて、暮れ行く街の夕景を眺め入つた

○木浦の東北部に當り松山公園がある、夏の夕べの逍遙に海や山を[illegible]

京畿道警務部

▲京畿道警務部衞生課加々見儀太郎氏は豫て本町署管內の防疫に從事し毎日多數の患者に接觸し昨今無休暇にて診斷に努めてゐる中西小門町の田中丸病院に入院したが檢鏡の結果二十五日になつてチブスと確定し目下加療中である▲いくら醫者でも病には打勝たれぬ何んでもこれは患者から感染したものであらうと云ふことだが經過は割合に良好だ相な▲尙之が爲め本町署管內は朝山警察醫が加々見氏の職務を代理し若樹醫師も臨時に囑託となり鍾路署管內は專屬の高橋警察醫の外に宮地醫師が臨時囑託となつて專ら防疫中である

興味ある二大懸賞

◇勝負豫想と優勝力士の豫想
◇締切は兩者共二十八日限り

本社が東京相撲のために提供した銀盃を取る力士は誰であるかと云ふ懸賞と、勝負豫想の二大懸賞は發表以來非常の好評で迎へられましたが、愈々二十八日を以て締切ります、勝負豫想の方は本紙社告の通り毎場所擧行しつゝある通りで銀盃受領力士の豫想は大潮、三杉磯、錦島、龍ケ峯、玉ノ川、小牛田山、若葉山、琴ケ浦、藤ノ川、大戶平、白岩、大岬、の各候補力士中優勝すると思ふ力士一名を端書に記して投書すればいゝのです、當つた方には兩方の懸賞共一等一人にサッポロビール一箱二等五人に同半箱三等五人に同一打宛四等二十人に福袋一個宛を差上げますから振つて投書して下さい

浴衣地見本進呈　寫眞版實物　博多土居町　紙與吳服店

公會文藝課題募集規定

□募集規定　▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲一等[illegible]

天氣　晴一時曇

商況

東京期米特電　二十六日前場　二節　二十四圓六十一錢　三節　六十六錢

兵庫期米　二十六日前場　二節　二十四圓四十五錢　三節　四十二錢　五十錢

大阪株式特電　[illegible]

大阪三品特電　[illegible]

大阪期米特電　[illegible]

下關期米特電　[illegible]

雜　[illegible]

絹糸市一高一低　[illegible]

正米依然混沌　[illegible]

一般人氣迷ふ　[illegible]

期米暴落原因　[illegible]

折合ふ多少は下値　[illegible]

亞鉛暴騰す　[illegible]

下關相場　[illegible]

各地商況　[illegible]

南大門の廻穀　[illegible]

仁川正米　[illegible]

俄然三圓方暴騰　[illegible]

砂糖漸次値崩　原價十五圓十錢迄かく採算　[illegible]

蚕の輸入　近々爪哇白　區々の唱へ　[illegible]

染料至極閑散　ベンゾール多少値下　[illegible]

支那粟弱持合　値頃比先十二圓　[illegible]

釜山穀物（廿五日）　急遽三四十錢方の安人氣　[illegible]

仁川期米　二十六日前場（依然下湿ろ）　先二十二圓六十錢と二錢安に寄付　[illegible]

大阪天候小雨　前寄二十五圓十九錢と昨比　受て七十錢沸騰　[illegible]

大阪三節臨時入人氣狼狽　四十五錢と暴落　[illegible]

後場更に大暴落　報に大阪上寄二節落入電　落に比頗ぶ下澁　成行に人氣狼狽　持縮の時代に二圓五十錢　[illegible]

大阪東京の大暴落　自然の結果とせば米の根底より崩落の端緒　[illegible]

政府の御用商人　止を命ぜられ　古屋桑名は買停　入電に依れば　[illegible]

市場雜觀　[illegible]

仁川米豆取引所　二十六日の八月限　[illegible]

仁川米豆取引所仲買人　廣澤正次郎　仁川海岸町三丁目

仁川米豆取引所仲買人　仲買店

大連安東縣間航路
（三）朝鮮―關東州―最捷路

大孤山泊地大鹿島、小鹿島等日淸日露の戰跡を眺めつゝ進む內、日に輙く碧油の海波、漸次溷濁して來ては黑河の泥海色と化し來れり之れ卽ち鴨綠江の河流が海中に流入し來れる故なり幾百となき多數の戎克が滿帆に朝風を孕みて此の源流に乘じて海へと奔り行くすり違つて行く時彼等の船の走行力の頗る強大なる事を知れり聞けば順潮順風の戎克は大抵の汽船よりも早しとの事なり此時既に私の乘つて居る

◎濟通丸は最早

鴨綠江口に乘り入つて居るとの事なるが海と河との區別は未だ判然と見分が付かずたゞ規則正しく並びて來たる戎克の帆を見て其れが鴨綠江の水筋であると云ふ事を知つた。汽船は赤色の浮標に從つて江を遡り始めたり此の時鴨綠江水先案內の第二鴨江丸が近寄り來りて水先案內者が濟通丸に乘り込みたり水先案內者が乘込むと共に船長は凡て船の進路を水先に一任するとの事なり此の水先案內は鴨綠江の主と稱せられて居る元海軍中佐の三浦義深氏であり氏は六十歲に近き老年ながら壯者の如き若々しき身體と心とを持ちて働き居れり三浦中佐の話に由れば凡そ河口水路の變態は昨日の淵今日の瀨と古諺にもある通なるが

◎鴨綠江の河口

程變化の甚だしき處は稀なりとの事なり三浦氏は毎月五六十隻の汽船の水先案內を爲し龍岩浦に居住し朝鮮遞信局氣路局の囑託を勤め居れるが水先案內は氏の個人經營にて相當の成績を擧げて居れりと日露戰役當時鴨綠江及び大孤山沖海に於ける運輸指揮官として此の江口附近の水路に就きて深く研究する處あり服役を退きて一生を此の水路の開拓に委して半世俗を脫して江畔に穩るゝに至れる中佐の懷舊談には可成に痛快なる任俠たる又紅情紫恨のローマンスが有る中佐は此の邊の地理に就き詳しき說明をされた右朝鮮側の新島と左支那側の大東溝との間に入れば江口は漸く河流の形を爲し支那側の趙子溝、大坪溝、櫻子山、娘々城、五道溝を船上より眺め朝鮮側にては德川山、龍岩浦、北城等を經て船は

◎河流の曲折に

從ひて迂廻して上る龍岩浦は日露戰役前露國軍隊占領して鴨綠江森林經營を開始せる處今も猶當時の宏壯堅固なる兵營存在し龍岩浦小學校に宛てらるゝ筈なりと龍岩浦は柳絲倒映の水鄕にして奇なる岩壁江中に突出し三浦塔の燈臺高く江に臨みて聳立せり楊柳雲の形に丸く岸の水邊に並びて江山の景美しき間に溯江し午後一時三頭浪頭の錨地に著せり三頭浪頭には大連汽船安東支店より迎への小蒸汽來りて待てり靜かなる海路と乘心地よき船室、心持よかし待遇等りを謝し直ちに小蒸汽に移乘し朝鮮側より注ぐ道梁江口及び支那側の錨泊町鹿山六道江等の夏木立繁る

◎水村靄の如き

眺めを悠々流れて下る筏の間より遙かに鴨綠江鐵橋を望み午後二時安東縣著市中巡覽の後午後六時三十分安東縣發列車にて京城に向ふ此の行、途中約二時間遲れ大連より十八時間を費したりと雖も猶汽車より四時間二十五分早く著し安東縣に於て優に所用を濟ます事を得且つ窮屈なる列車と違ひ伸び〳〵と橫臥し又は展望し愉快なる旅行を爲す事を得た予は朝鮮各地と關東州との間に往復する人々に此の樂しき旅路を取らん事を勸めんとするものなり（終）

反過激派の氣勢揚る

哈爾賓埠頭區コムメルケエスカヤ街女學校內に於て哈爾賓に於ける各派代表者集合の上露國救濟の爲め聯合國の援助を要求すべく協議會を開催せしが參會者は在哈爾賓西伯利亞立法會議員、同州會議員、立憲民主黨代表者、極東委員、會代表者其他經濟的團體代表者等にして前立法會議員ウオストロケンア氏座長に推され極東委員會長アレキサンドル其他各代表者交々演說を試みたるが會議の結果不明なれど哈爾賓を根據とし聯合國援助の下に反過激派の旗擧をなさん計畫ある事は疑ふの餘地なしと露紙は報せり（長春）

戰塵

◎滿洲里の危機

去る二十日滿洲里の我在留民總代より哈爾賓を通じて外務大臣に對し頻りに救援を要求したる事は既報の如くなるが其の全文左の如し（長春）

過激派は協商國共同の敵たる獨墺軍人を主力とせり支那は其の過激派軍と奮戰苦鬪せるセミヨノフ軍に對して軍需品の供給を妨害し戰爭を不可能ならしめながら過激派軍には軍需品を輸送したり滿洲里支那軍隊の行動は過激派を盛ならしむること大なり無援のセ軍は旗色振はざるに乘じ支那は何者をか恃む所あるが如くセ軍若し退却する場合に於ては戰線に接續せる國境にて武裝解除すべしとの強硬なる要求をなせり敵前の武裝解除と全軍を俘虜となし全滅せしむるものなればセ軍が應せざれば支那はセ軍に

◎滿洲里は戰場と化す

（延て支那軍セ軍の開戰となり）

すべし其の死解は結局武裝解除に關聯し死鮮を生じ開戰すべく準備を整へつゝあるべし若しセ軍が過激派軍支那軍と共同し（彼我衝突開戰の意味ならん）滿洲里を全く無政府狀態に陷らしむるに於ては在留同胞二百五十名の生命財產の安全を期する能はざるに至るやも知るべからず滿洲里は今や明日をも計り難き危險に瀕せり前記の事情に鑑み大至急應救の御處置願ひ上げ度在留民總會の決議に依り狀況報告旁々嘆願候也

◎セ軍に對する四圍の壓迫

滿洲里守備の支那軍隊は北京政府の命令なりとし又其の後に潛める某強大國の威力に依りセミヨノフ軍に壓迫を加へ、セ軍をして絕體絕命の窮狀に陷らしめつゝあるが今又滿洲里日本居留民總代の外務大臣並に哈爾賓總領事宛電報に依れば、支那軍はセ軍に對する軍需品の補給を妨害し、武裝解除を要求し以て戰鬪を不可能ならしめ反つて彼の惡むべき過激派軍への軍需品を輸送し居れりと所謂某強大國が過激派軍を利用し且つ獨佛の同情に浴しホルワット長官一派と同志の關係にある筈のセ軍を苦しむるの意思のある處を推測するに苦しまざるを得ず假令背後に煽動的教唆的勢力なしとするも亦甚だ不可解とするところなり

支那守備軍の行動

セ軍の軍事行動は今日に始まりたるにあらずして從來殆んど間斷なく同軍の武裝部隊は國境を通過し或は滿洲里を根據地とし、或は同軍に供給せらるべき多量なる武器の國境通過を爲したる等の事に對し支那はセ軍旗擧げ當時より之れに何等の掣肘を加へざりしにあらずや然るに從來何等妨害的壓迫的行動を爲さゞりし支那軍が其の態度の一變に就ては

實に驚くの外なし

セミヨノフ如何に勇猛精悍なりとも前に優勢なる過激派軍あり、殊に後に武裝解除を迫る支那軍あり前後に武器補給の途を斷たれ腹背敵を受くる狀態となるに至りては又遂に如何ともすべからず恐らくは怨を呑んで一時雌伏に決するの外なかるべし（哈爾賓）

◎過激派に反抗

（四十五部隊四萬の將士撤退す）

西伯利亞騷亂の眞相なりとて露紙の報ずる所に依れば露軍の第一線撤廢と同時にチエツヒスラヴアク族の軍隊は同族主權者の命令により全部佛國戰線に行く事となり浦鹽斯德より米國船舶に乘じ目的地に向ふ豫定なりし處獨逸側の干涉により過激派執政官は之れを拒絕したる上武裝解除を命じ又過激派は其後各部隊より代表者を選出して會議の結果全部

（一致して過激派に反抗を企て）

其態度強硬にして

約四十五部隊四萬五千人を速に浦鹽に向け輸送せん事を要求し亦在莫斯科の米佛代表者も共に輸送要求を爲したるも過激派は獨逸の干涉を惧れて容れず反て途中

（之れを抑留せんとせしが爲め）

全部隊は非常に反抗

しウクライナ人及び反過激派と結び強硬過激派に反したる結果遂に各地過激派の破壞的暴行に對抗せん爲めチエツヒ軍隊及び其の司令官の名を以て

（過激派に對し自由行動を宣言し）

鐵道從業員を捕縛

し或は過激派を強壓して各地勞兵會を打破し鐵道を自己の掌中に收め今や彼等は自力により浦鹽に到らんとしつゝありと報せり（長春）

◎滯貨三百輛

此損失約八十一萬留

哈爾賓の特產物商は東部境界閉鎖に伴ふ滯貨の善後策に付き先頃集會して協議を開きしが邦商全體の滯貨は約三百貨車にして假に長春へ廻送するとせば一車約二千七百留を要し金額差當り約八十一萬留の損失なりと云ふ（長春）

◎玄武門再建
純朝鮮式にて

平壤の玄武門と云へば原田重吉の名と共に廣く人口に膾炙せるが一たび牡丹臺に遊びて其の實地を見るものは其の如何にも平凡千萬なるに一驚を喫せざる者稀なり殊に日淸戰爭當時までは存在したる玄武樓門が今は全然其の跡を止めず唯だ穹形の土石門を名殘に存するのみにして名所としては甚だ貧弱の譏りを免れざるの感なきを得ず左ればとて某々有志は此の際舊態の如き樓門を純朝鮮式に再建せんことを計畫し主として先づ鮮人側の贊成を求むべく寄り〳〵協議中なるが由名勝保存上近ごろ好適の擧なりと云ふべし（平壤）

蠶況

◎收繭終了（大田）

大田郡地方に於ける本年の春蠶は去る十七八日頃を以て全部上簇を終り目下生繭の儘にて毎日大田公認蠶業傳習所內に於て共同販賣執行中なるが一般の繭質は頗る良好なるも往々にして桑葉不足の結果給餉不十分

◎收繭石數（鳥致院）

燕岐郡の春蠶收繭は目下全く終了せるにあらざるも三百五十石の見込なり郡內に約三萬圓の副收入あり農民の懷ろ具合最も宜しく養蠶の有益なる事を實見せし彼等は近年養蠶熱高まり非常なる好望事業とせり燕岐郡の協同販賣繭價格左の如し、（特等）九十八匁（一等）九十二匁（二等）八十四匁（三等）七十七匁（四等）五十八匁（等外）四十七匁（玉繭）三十二匁

◎繭相場（慶北）

慶北各地其後の繭相場左の如し（大邱）

郡名	出廻（貫）	（高）（匁）	（低）
聞慶	六日　三二	四四〇・九三〇	六、三〇
金泉	先、一二五、〇五〇	九二〇	八、二七
榮州	六日　一六六、……	一〇、五〇	八、七九

◎平南採種田畑補助金額

（大正七年度＝單位以下四捨五入）

種別	面積	交換種子	補助金
水稻	二五四反	四七二石	五九九圓
陸稻	七三反	一五石	一八九圓
小麥	五六六反	二七一石	七七五圓
粟	二三七反	一八九石	三五二圓

◎賑かな安東縣
八島生

回安東縣は毎日百餘の筏到著し可成の殷盛を呈し居候、從つて花柳界の客入時たる事申すに及ばず藝娼妓の屆け出で毎日數名に及候回『命かけで儲ける金だから費ふのでさあ』とは彼れ等筏流の言葉にて儲けた金の大部分は此處安東縣にて浪費され從つて景氣の好い事驚らしきものに御座候、日本人筏夫にて能く流す者は一箇年に七回支那人にて普通三回、五回流すは餘程腕のある者とされ居候回『命がけの金儲』從つて鼻息の荒き事到底他にては一寸見られぬ處に御座候、仕事が斯樣に命がけである丈けに彼等の荒んだ氣分は法律もなければ警察もなく唯其日〳〵を面白く愉快に暮し得るを最上の慰安と致居候故に內地人の喧嘩は朝飯前の事喧嘩殺人等殆ど珍しからぬ始末に領事館警察署員は殆んご眼の廻る狀態に御座候、而し此種の犯罪は主として支那 [illegible]

京日愛讀者優待

東京相撲 特等割引證

此割引證を上記の各商店で御持參相成れば特等席（上段棧敷）木戶共金一圓三十錢に割引しサツポロビール一本づゝ贈呈す

詳細は上段記載の社告を御覽下さい

證は一枚一名限り但し小兒は二名まで

◎東京大相撲京城興行中通用す

京城日報社

京日愛讀者優待

東京大相撲　木戶割引券

京城日報御愛讀者にして此割引券御持參の御方は卅錢の木戶料を廿錢に割引致候

（京城興業中）

後援　京城日報社

演藝案內

大正館
櫻井町　電話八七三

浪花館
明治町　電話二六〇番

◎（本日より臨時休演）◎

壽館
京城本町　電話一〇五〇

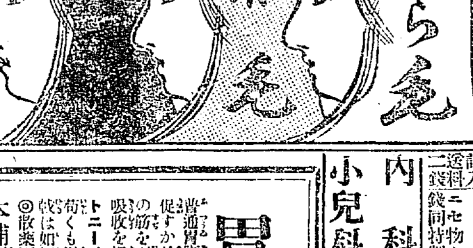
黃金館
電話二二六三・二二六六

有樂館
早川演藝部直營　活動寫眞常設館

[illegible]

純良赤門葡萄酒

發賣元　大阪　小西商店洋酒部



品質本位　ちら毛染　君が代は

自然の黑髮の色艷に染る　發汗頭皮をこして三十分にして

本品は到る處の有名藥店化粧品店にあり

定價　別製二十八錢　特製二十五錢

東京淺草藏前片町　山吉商店

關西代理店　大阪市東區堺筋通　伊藤朝日堂　電話東一七四四　一六六七　振替大阪三九〇

見本贈呈　禁煙パイプ

小兒科　婦人病　內科　呼吸器病　胃腸病

京城若草町大通り　今村醫院　電話一八三三番

胃腸病とタラコン

普通胃腸の藥は只だ一時の消化を助くるか無理に胃液の分泌を促すか又は胃液を中和するだけですが此タラコンは弛緩した胃腸の筋を引締めて其活動を順調にし胃液を整へ消化を十分にして吸收を好くし本統に健全な身體となります胃腸加答兒、胃アトニー、胃擴張、胃潰瘍、常習便秘、常習下痢、胃酸過多等苟くも胃腸病に苦む方は是非御試し被下タラの一瓶劇烈なる胃痛は如何に頑固な長年の胃腸病でも效驗卓效があります

◎散藥五十錢一圓一圓九十錢◎送料八錢海外廿錢

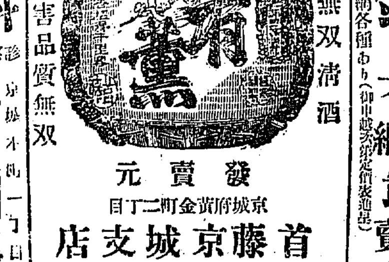
本舖　東京小石川下富坂町廿　無量壽藥園（電話小石川二九五六）（振替東京二〇〇二一）

魚釣具及投網卸小賣

京城永樂町　吉備商會　電話三一四一　振替京四三三八

醇良無双清酒

衛生無害　品質無双



發賣元

京城府黃金町二丁目　首藤京城支店　電話長一七一一番

釜山港幸町　首藤釜山支店　電話長三四三番

內科　胃腸病

京城本町一丁目　石川醫院　電話一二七三・二九〇

朝鮮銀行

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

支店　東京、大阪、神戶、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、旅順、遼陽、鐵嶺、吉林、哈爾賓、龍井村、鄭家屯、上海

出張所　傅家甸、龍井村、鄭家屯、上海

右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

ヒコーキ印粉劑消火器

官衙、銀行、會社、學校、家庭に必ず備へ付けらるべき消火器！

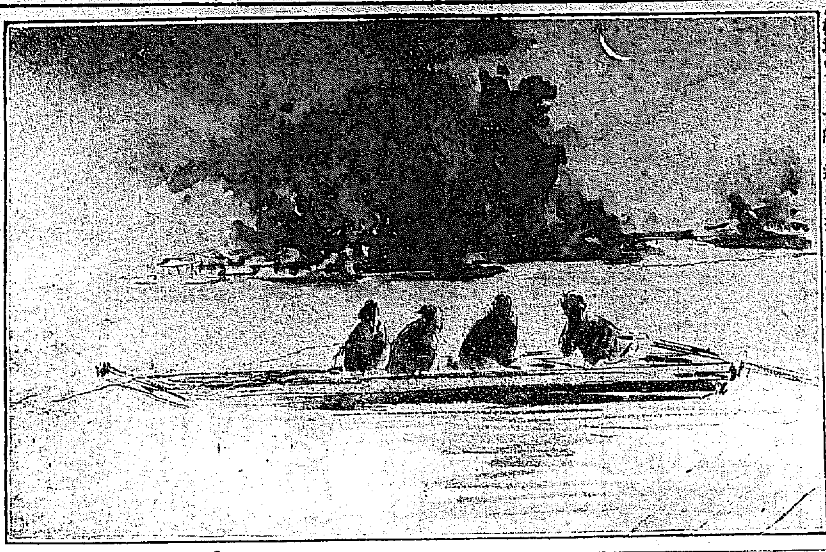
大發賣所　京城太平通一丁目　京城日報社代理部

產科　婦人科

京城壽町　醫學士　二宮亮吉　二宮醫院　電話一〇〇一番

塚原卜傳

第百十八席　悟道軒圓玉口演



三人は船へ乗つて猪之助が艫を押して駒形河岸を放れ、船は川の中流へズーツと出て來る其頃の隅田川は今の川幅の三倍もある當國第一の大河、上流を隅田川といひ下流を宮戸川といふ、向島は凡て須田村と稱へ、或は綾瀬關屋の里、尾崎などゝいふ名所が兩岸にある、船は追々上流へ向つて漕いで來るに隨がひ雲間をこぼれる三日月は待乳山の森の梢を出で、雨後の景色は一入の眺めであります、丁度小梅堤の下まで船を進めて來ると鳥山石庵が　石『オイ船頭衆、少し船を止めて呉んな　猪『へエ何處へ著けますんで　石『イヤ著けるんぢアない、少しお前に聞いて置く事があるから船を止めて呉れといふんだ　猪『左様でございますか』と小梅堤みの下へ船を寄せて、猪『何にか御用でございますか　石『他ぢやないが、お前は今中の商賣を受けて城内へも出入りをして居るさうだな　猪『左様でございます、今中様には種々御引立を受けまして城内へも度々伺びます　石『さうか、付かぬ事を聞くやうだが貴様塚原小太郎といふ人物が居る所を知つて居るだらうな、知つて居た教へて貰ひたい　猪『へエー塚原そんな方は一向存じませんが　石『イヤ知らぬ事はない、隱すな明日此宮戸川で其塚原を水中へ沈める役を引受けたのは貴樣ではないか、知らぬ事はあるまい、尤とも之れは内密の事だから貴樣も隱すのは無理もないが何も彼も知つて居る俺だ、隱さずに知らせて呉れろ　猪『へエー御存じでございますか　石『何も彼も知つて居る、貴樣が今中殿から頼まれて明日舟遊びの時船頭の役を勤め、塚原の乗つて居る船の底の栓を抜いて水を入れ、己れは水中へ飛込んで逃れ、塚原は水中に陷ちて死ぬ、其骨折として金百兩の褒美を今中から貰ふ、其金で淺草仁王門際の柳屋のお粂の借金を拂つて女房にして、何か小商賣をするといふ、チャンと寸法が極まつて居るのではないか、隱すな　猪『へエー之れは驚いた、どうしてさう悉しく御存じなので……　石『何も彼も筒抜けに聞いて居る　猪『さう種が上つちやア隱したつて仕様がございませんから申上げますが實はその通りでございます、今中樣から頼まれましたので悉しい仔細は存じませんが何んでも遠山丹波守樣からの仰付けださうで塚原は日本一の劍術遣ひだから陸ぢやア到底討取ることは出來ない、船へ乗せて栓を抜いて沈めてさへしまへば宜いからと恁ういふので、實は家の親方も承知の上で私は百兩といふ金を貰ふことになり引受けました　石『さうだらう、處が其塚原が悟つたと見えて逃げて了つたのだ　猪『エッ、逃げましたエ、何處へ　石『何處だか知れぬ其の居所を突止めるため、我々が恁うして歩行いて居るのだが、實は貴樣が其の塚原に内通をしたのでないかといふ事ら評議中だ……

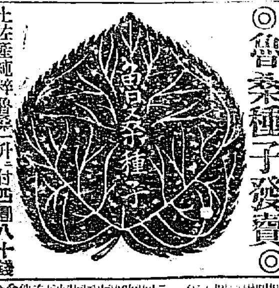
赤い羊かん　姿のこゝろ　木村屋名物　召しあがれ　(京城明治町 電二八七〇)

猪『冗談仰しやつちやア不可ません、塚原を逃がして了つちやア一文にもならない、そんな馬鹿な事はいたしません　石『イヤ塚原が居ない所を見ると貴樣が怪しい、百兩の中手付を何程か取り、其上塚原に内通して同人を逃し、何程かの禮金を貰つたに違ひない、サア塚原の在所を言へ　猪『そんな無理を仰しやつては困ります』塚原は今まで小石川村の島村小才治といふ郷士の家に居たので、其處の主が案内で城内へ小太郎が行つて、それから舟で宮戸川へ出る都合になつて居るんですから、逃げるわけはないのだがそれぢやア事に依ると其島村小才治が逃がしたのかも知れません、逃げられちやア私も儲け損なふ大變だ、一つ之れから小石川村へいつて其島村に逢ひませう』之れを聞いて鳥山石庵、下閲親娘と顔見合せ、ハタツと睨んだ。

暦

六月廿八日　九星　舊五月二十日　丙午　本命三碧　東北　赤口

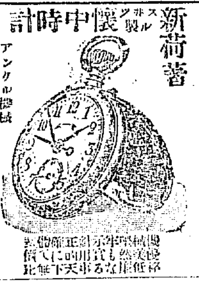
▲三碧●物の進歩を意味する日新事を見合坤の方は吉婚禮取引▲四緑●好調の日就職居入學求職名弘出 漁發件要請等 萬吉▲五黄●一切閉口する事有日新事手控移轉は吉倫散財すべし▲六白●油斷のならぬ日新事手控へ萬事は吉衞生に注意せらるべし▲七赤●する事有日落付いて新事手控當の事は吉▲八白●親子の間にも入組を生ぜんとす新事手控萬事土工は妨なし▲九紫●高尚の日轉居旅行入學名弘求職上進取の日轉居旅行入學名弘求職▲一白●出 漁婚禮轄出業等萬吉▲二黑●奇怪の事有日件婚禮水産業等萬吉事手控の事は吉女子は心を美にもたるべし



◎魯桑種子發賣◎

土佐産純粋魯桑　一升ニ付　四圓八十錢
普通桑　一升ニ付　三圓三拾錢
御注文直ニ發送可仕候
京釜線鳥致院驛　朝鮮興農園
振替貯金口座京城三七番

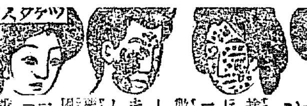
新荷着　スイス製　懐中時計



懐中時計(▲印はラヂューム入)　腕巻時計(▲印はラヂューム付)　ニッケル側十八形　アンクル機械　[illegible]

石は今回新着の商品にて本品の他に御便利に御座候間御注文願上候
時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國貨直輸入商
インクレッレー商會
本店京城本町二丁目電話九七二番

陸軍拂下
布、福袢、袴下、靴下、手袋一切
京城府漢江通三電話三三六番
佐藤古着店



ソバカス　あざ　ほくろ　いぼ　しみ

ソバカス・あざ・ほくろ・いぼ・しみ・捨置ば人から嫌はるる今迄ほせ藥や薬學界に名聲有る一等軍醫音尾博士先生が數年間苦心研究の結果して效藥を發見致しましたキクキク特効藥で治療しても効なくお困りの人も彼是と迷はず一日も早く三錢切手封入「東京府淀橋町柏木百廿番東京博愛藥院」へ申込めば確實安全なる自宅新療法の本を無代進呈

も進歩したる「チゼン」液は一寸の思議にヨクキク責任ある藥を御見致しました是迄無責任な一寸藥人ダマシの賣藥にて効無くお困りの人も彼是と迷わず一日も早く東京府淀橋町柏木百弐拾番地●東京博愛藥院宛にハガキで申込めば化學的新療法の本を無代で上げます　◎全治して喜び神狀山の如く賞讃す

人から嫌われる
わきがを
◎全治して喜び神狀山の如し
責任有る確實藥で早くなほしなさい

◎音尾博士先生創見
◎化學的療法無代進呈
藥學界に名譽ある陸軍一等軍醫音尾博士先生は男女わきが病にてお困りの人を助けせんが爲め數年間苦心研究の結果今回

李王職御用
模範牛乳
ニウソ洗粉石鹸
主事 醫學士 肥塚正太
京城蓬萊町四丁目
東亞牧場
電話 二〇一二番

金銀時計製作販賣
品質確實
仁川本町
岐阜商店
電話三七〇番・振替京城一七番

香晶の包裝改正に就て

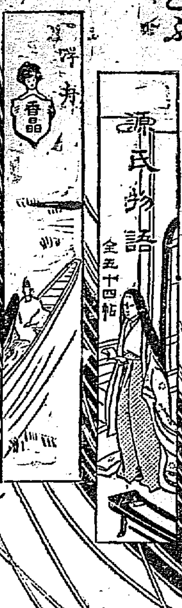
今回結晶香水香晶の包裝を以前に勝つて優美な左圖の如き体裁に改正致しました

其上各位平素の御愛顧に酬ひんが爲め赤、青、草、黄、藍、墨、薄墨、桃、薄紅等數度摺の最も優美な極彩色に成る左掲の

源氏カードを無代

で一枚づゝ香晶お求めの小賣店から皆樣へ差上る樣に取計らひました此源氏カードで何れも書物に挿む栞として優美此上なく又全部をお集めになれば一ツの立派な書帖が出來る樣表裏兩表紙も加へて全て五十六枚になつて居ります

益々香晶の御愛用を乞ふ



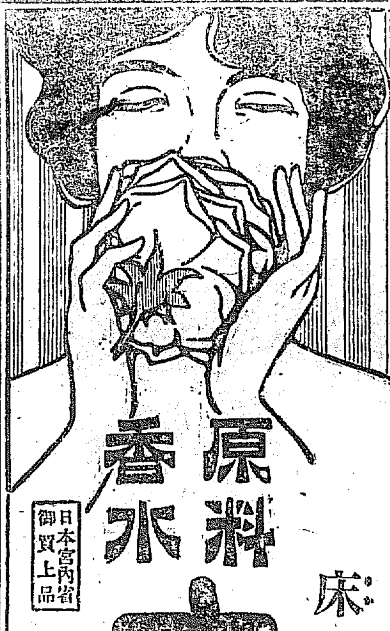
源氏カード實物大 二分の一縮圖 全部五十六枚の内

香晶新包裝(實物大)

香晶定價 一個金二十錢

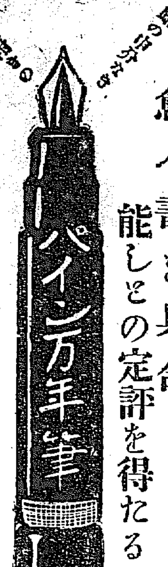
各地小間物化粧品店藥店雜貨店にあり

發賣元　大阪道修町 東京本町　藤澤商店



原料香水
日本宮内省御買上品
床しい花の薫りが永く保つ
オリヂナル
此の一滴はどれ程皆樣の品位を高めるでしょうか
カオール本舗
東京 安藤井筒堂
代理店 大阪 藤森源之助

大日本政府登録商標
"PINE"
一度のお試みを乞ふ
〇〇〇〇〇〇〇〇



愈々書き具合能しとの定評を得たる
萬年筆の眞價はパインを除き他に知るべからず

特許既願防破裝置附
繰出式萬年筆　金六圓八十錢
押出式紳士用　金五圓三十錢
インキ止式婦人用　金三圓八十錢
イ ンキ止式實用短軸　金四圓九十錢
イ ン學生向　金三圓八十錢
パイン號　金二圓八十錢
ビジネスペン(事務用)　金一圓九十五錢

不具合又自然破損は交換快諾又は無料修繕

發賣元　京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番
京城日報社代理部

外科花柳病
内科婦人病
入院隨意
醫學士 齋藤勇
醫士 齋藤豐次
京城本町五丁目稻荷座前
大和病院
電話二〇一二番

資本金　貳千貳百七拾萬圓
積立金　壹千貳百貳拾萬圓
總預金　貳億貳千六百萬圓
株式會社第一銀行京城支店
京城本町二丁目
振替貯金京城一〇一番
電話　二二一、六一、七番
頭取　佐々木勇之助
支配人　西村道彦

汽車

京釜線(南行)	京釜線(北行)	湖南線(南行)	同(北行)	釜山連絡	平壤線	京義線(北行)	同(南行)	京仁線(仁川行)	同	京元線(北行)	同(南行)
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

京城日報 第五版

二十七日朝刊 (朝夕刊を併せて八頁)

發行所 京城太平通一丁目 京城日報社

今二十六日後場 大阪前歩め二十五圓十八錢の入舩にて先二十二錢と五錢高に寄付跡大阪電報の未著に二錢より四錢の二十六日の八月限

仁川米豆取引所

京城日報

伊太利及地中海

今春以來墺匈國政府の伊太利に對する講和運動甚だ急切にして去三月下旬獨軍佛蘭西に於て大攻勢を取りたるに拘はらず、墺軍の伊國内に在るもの寂として動かず、人をして墺匈國は最早戰鬪の意思能力なしと思はしめたるに、去十五日突如伊國戰線に渉りて大攻勢を開始したり、其進勢は頗る緩漫を極め、或は既に失敗に終れりと爲すものあれども何分にも伊軍に比して十個師團ほどの優勢を有てる墺軍が遲滯きながら獨逸の指揮の下に攻勢を取るに至れる以上は此まゝにて戰鬪終結したりとは斷ずべからず。

是より先き獨逸は露西亞に強要するに、其黒海に在るところの艦艇の引渡を以てし、切りに地中海に對する機略を講じつゝありと傳ふ、昨年獨軍若干墺軍を助けて伊國内に侵入したれども、其後獨逸は佛蘭西白耳義戰線に全力を集中し、東部戰線の軍隊を悉くして此に移したりと稱す、則ち此間伊太利戰線に於ける獨軍を一旦引上げて他に移したるに相違なしと雖も、今日の形勢にては佛國戰線に於て勝敗を決すべき徹底的爭鬪を見るべからざるを以て、彼は遂に顧眄して再び伊太利に志したるものなるべく、今日にては伊軍善戰其進勢を阻止し得たるが如くなれども、若しも更に獨軍來りて伊國戰線に加はるあらば、又々懸念すべき形勢となるべし、露西亞崩潰以後獨逸の獨ふところは、佛白戰線と伊太利戰線との二方面より一面不可なるときは他面に於て萬一を僥倖す、所謂常山之蛇の勢を成すものにして、甚だ以て厄介千萬なり。

然れども常山之蛇は遂に制すべからざるか、豈然らむや、昨年露西亞と講和以來獨逸の出處頗る自由自在なるが如くなるは、其若干の餘力を得たるが爲なり、露國先づ自ら潰敗し羅馬尼亦屈す、乃ち此方面に用ふるところの兵を其欲する處に移すを得、昨年十一月伊太利に侵入したるはこれが爲めなり、今年三月以來佛白戰線に於て攻勢を取れるもこれが爲めなり、併ながら其所謂餘力なるものは固より比較的にして絶對的にあらざるなり、若し大體より云はゞ、味方は英吉利佛蘭西伊太利諸國に加ふるに北米合衆國の兵員を以てす其の敵に比して遙かに優勢なるや言を俟たざる所なれども、是までの戰鬪は毎度受身の地位に立てる爲めに却て敵の爲めに先制せらるゝの姿あり、只我味方は實力遙かに敵に優るものあるを以て、發憤努力其事に當て能く久しきを持するあらば、必勝の算甚だ明白なるものあり、且兩頭の蛇も其一頭を斷てば則ち倒る、今若し佛國戰線に於て獨軍に大打擊を加ふるを得ば、彼は此に其終焉を告ぐべく、假令戰爭終結とまで行かずとも、彼をして伊太利戰線に手を伸ばさしむることなかるべし、これと等しく伊軍幸に墺軍に對して決定的勝利を占むるあるは、墺匈國はこれが爲めに崩潰して、獨逸の爲めに將に心の病を重くすべし、之を要するに戰爭は戰て勝つにあり、一切の難問題を解決するものは只戰勝あるのみ。

内地の宋學に就て(一)

於經學院 今關天彭氏講演

ここに内地に於ける宋學と云ふ題を掲げましたが、内地に行はれた支那の學問は決して宋學ばかりではありません。奈良平安の兩時代は、主として漢唐の訓詁が行はれて居たのであります。また近代の徳川幕府の時代となりますと、中江藤樹は陽明學、伊藤仁齋は復古學、荻生徂徠は古文辭學、井上金峨、片山兼山等は唐宋の折衷した學風を唱道し其の他諸學者が群り起つてなか〳〵盛んなものでありました。斯樣な次第でありますから、こゝに御話し致す宋學は、内地に於ける支那の學問の全體でないと云ふことを、先づ以て御承知を願つて置きます。

さて宋學とは何ぞやと申しますと、これは諸君の既に御承知の事とは思ひますが、ざつと其の經過を一言しますると、宋學とは今から七百年以前の支那の宋代に行はれた儒道に關する新しい學問であります。儒道は東周の半頃、今から二千四五百年以前に孔夫子が世に出られて、堯舜を祖述し文武を憲章せられて、斯道を集め大成せられたのでありますが、戰國の大亂秦の焚書坑儒を經て、經籍は散亂したのみならず、この間に文字の變遷がありましたので、漢となつては經書を古い文から新しい文に翻譯せなければならぬやうになりました。そこで翻譯はしたものの古い文字の意味や、古代の制度器物などを詳しく解釋せねば、經書の中に書いてある意味が明瞭とならぬので、學者はこれ等の解釋に精力を傾けました。これから唐となると今度は漢代に解釋した言葉の意味が分らぬやうになつて來たので、更に又注釋を書くやうになつた。これが所謂漢唐訓詁の學であります。然るに宋となりますと學界に於ては訓詁の研究ばかりでは滿足せぬやうになつて來た。何か學術の根本を明確にせねば已ぬと云ふやうな思辨的な傾向を生じて來た。こゝで濂(周濂溪)洛(程明道、伊川)關(張横渠)閩(朱晦庵)五先生の學風が起りました。宋代三百年間は、種々なる學風があるのですが、宋代學術を代表するものは、實にこの五先生の學風であります。この學風は專ら四書(大學、中庸、論語、孟子)を本據と致しまして、天理と人道とを一致させるところに一大特色があるのであります。また道統の繼承を吟味致して、道統は堯舜禹湯文武周公孔子より孟子に傳はり、孟子から後斷絶したが、宋の周濂溪先生に至つて、この千歳不傳の道を繼承して二程となり、朱子に至つて大成したと說いて居ります。この外朱子は資治通鑑の不備を補うて通鑑綱目を著し、君臣、父子、内外、華夷、王覇の說を嚴しくして居ります。朱子のこの書物は後に述べます如く、餘程内地の宋學に關係があるのであります。この學風は一時非常に壓迫せられましたが、宋末から朝廷に於て採用され、元を經、明初に至つて五經四書大全が出來てから後は、官府の學風はこの宋學と極まりました。淸朝の半頃から、漢學即ち漢代訓詁の學が復興し、謂て兩漢に於る專門の學が勃興して、宋學衰微の狀況となりましたが、朝廷の學問は依然として宋學であつたのみならず曾國藩が出た以來、更に宋學復興の氣運となりました。今日の民主主義の政府に對して、復辟を斷行せんとする思想の根元は、畢竟この宋學から來るのであります。斯樣に支那歷代に於ける宋學の位置は重いのでありまして支那の國教とも見るべき儒の道を代表するものは實に宋學であると云つて宜しいかと思ひます

新自然主義 十二

鈴木大拙

彼等は衣を著た猴である、冠をつけた沐猴である。大きな眼から見ればそれも一種の遊戲三昧かも知れぬ。これを要するに、新自然主義の天國へは小兒の如くなりて始めて這入れるのである。青年期に有してをつた自由氣概や奔放の精神を中年期以後に回復し得て、此處に亦新たなる遊戲三昧の境涯が出來るのである。これを實施するには、一たび火の洗禮を受けねばならぬ。併し其の陶冶の烈火は只燒いて仕舞ふと云ふことを目的としてはならぬ燒くものを燒いて然る後淸きものを作り上げると云ふことに心懸けねばならぬ。誰れにも心靈の光はある、これを滅却させたくない。此の光を未だ嘗て見た事もなく、見んとしたことのないものは、予が自然主義を唱ふるのを見て、何の意義かわからぬであらう。赤子、青年、成年、老年と云ふやうに進行は爲たくないものである。又させたくないものである。願くは『老人』の字をして永遠に吾等の辭書より取り除かしめよ。これはなくてもよい文字である。それ故予は青年に向つて言ひたい『陶冶の火を恐れるな、唯汝の心の火の消ねん事を恐れよ』と次に『老人的』の人々に向て告げたい『手段と目的とを混ずるな。樹を剪るばかりでは育たぬ。肥料もいる日光もいる、時には伐らずに縱や竹で助けることも必要である。御殿の庭師のやうにあれを角に切り、これを圓に剖ると云ふやうな一定の計畫を胸に抱かずに置いて欲しい。神經過敏と云ふ鞭の下には『國家』の料理をさへ出來ぬものが生れる』と(終)

並行線 二十

瀧閑村

『母ちゃん、茂が手紙をこんなに破つちまつたよ』

『うゝん、兄ちゃん破いた』

と二人は其手紙を持つて來て母に訴へた。

『また二人で揶合をしたのだらう、仕樣が無いね、どら、どこから來たお手紙だね、お見せ』

お村は受取つて見て顏色を變へた。封筒も書信も散々に裂けてゐるが、繼合せて見ると、宜太郎へ宛てた手紙で、裏を回すと京城山本靜子とあつた。

『お前たちは大變な事をしてしまつたね。とりや宜樣の所へ來たお手紙だのに困つたね』

手紙を手にしてお村は途方に暮れた。叱られるかと思つたのが叱られずに却つて、母が頻う困つた顏をしてゐるのを見ると、譲も茂もさすがに悄氣てしまつた。

『困つたねえ』

『母ちゃん、堪忍して』と譲は少し涙含む。

お村もやつと思返して

『仕方が無い、だけれど是からはお手紙をこんなにするのぢやあ無いものだから……是から郵便は、いつでもお母さんの所へ持つて來るんだよ』

許されると二人は直ぐに元氣を恢復して

『茂、戶外へ行つて遊ばう』

『あゝ行かう』と相伴れて飛んで行つてしまつた。

お村はどうかして宜太郎に謝罪して此郵便を送らうと思つたが、餘り激しい破れ方なのと、靜子とある女文字なので、一體どんな手紙か知らうと云ふ好奇心に驅られて窃つと讀初めた。破れて意味の取れない所を其儘にして讀續け、三分の一程行くと、お村は我知らず四邊を見回した。そして讀むのでは無かつたと後悔した。

『……お歸りが無いので父は(池谷はもう來ない心算だらう)と云つてゐます、高山さんは毎日來て父と頻りに相談をしてゐます、昨日も父は晩酌の時(お前は高山の所へ行かないか)と笑作ら云ひましたから私は返事もせずに立て了ひました、そして自分の部屋で一人でさん〴〵泣きました。私は何か恐ろしいものが私を窺つてゐるやうな氣がしてなりません、殊にあなたは御病氣との御事、あゝ私はどうしたらいゝでせう……』

誰にも見せられぬ手紙を讀んだ事を悔ゆる傍から、何とは無しに羨ましいやうな、妬ましいやうな氣がむら〳〵と湧上つて來た。

お村は其手紙を手にして暫くそこに佇立してゐたが、やがて手紙をスダ〳〵に裂いて紙屑籠の底深く突込んだ。

『お母さん、茂が溝へおッこちたよ』

そこへ長女のよし子が汚れた草履を片手に、泣いてゐる茂の手を引いて來た。

反響

今は六年の昔、富士の裾野山子の紳浪打ち騷ぐ邊りに袂を別ちしより以來絶えて久しく親しむ能を得ざりし瀧先生の文を今又京城日報紙上にて拜するを得一層なる感興を以て日々迎へ居り申候願くは先生御在れ。全南康津にて 富士の人

忘機吟社六月例會席上(其二)

綠陰煎茶 高井椿堂

綠陰不見一塵侵。迎客煮茶談古今。四顧風光如此好。凉生兩腋爽吟心。

學鷗曰 不必有奇。即事自佳。

○ 大垣金陵

老來避著到田家。不似洛陽城裏譁。四顧無塵泉湧處。綠陰石鼎自煎茶。

學鷗曰 亦有幽趣

○ 大陸鳩仙

出没邊心欲迷。綠陰遮日寂山谿。石泉煎茗喫禪味。花送幽香是菩提。

學鷗曰 曹谿寺中庭、有菩提樹、則寫實況者、廻然高唱、

○ 志賀敬愛

細雨斜風隔斷春。幽懷最喜綠陰新。一甌茶味不知價。脫却人間萬斛塵。

九十韶光去似奔。未醒春夢遶芳園。綠陰深處詩僧至。一碗新茶滌塵煩。

學鷗曰 絕不裝點、自得幽野意趣、

(◇雜誌抄)

◆人が乘らないで自由自在に活動する水雷艇◆

この頃佛蘭西では電氣水雷艇の發明を完成した、此の電氣水雷艇は唯一人の乘組員もなく、唯一人の指揮者もないのに、命令一下、直に進んで敵艦に突進する、其構造は一番上の舷梁に無線電信の受信器があつて、其前後に照準燈があり、この照準燈は無線電氣裝置で電燈は夜間に限つて使用される故に此艇を指揮するものは司令官でなく艇長でなく海岸にある無線電信所である、ソコで敵艦を目がけて無線電信所の技師は直にこの水雷艇に命令の電波を送つて艇內の發動機が活動を始め敵艦に近づく、運用距離に近づいたと知ると無線電信所は艇底の筒に貯へた魚形水雷を發射させ更に方向變更機に電流を通じて、再び海岸に呼び寄せるのである(少年)

現行英語讀本の豫習復習自修機關として學生界の愛顧を獨專す

ポケットホームリーダ

歡聲湧くが如き現行英語讀本のポケット用自修參考書 驚喜讃辭を併せ得べき袖珍英語讀本!!

「見本進呈す」

ポケットホームリーダ……に對する學生諸君の感歡日に加はり推奬日々に新たなるは寧ろ當然の事として敢て此所に誇らず其然るべき理由の存するは既に諸君の悉知せらるゝ所なれども今又內容の一班を畧記すれば次の如し!

一 現行英語讀本の各レッスンを巧みに配列しいかも倦むなき興味を湧すべき新工夫を講じて各種英語リーダ獨習の機關を完備せしめたる事

二 漸進的に學び得る樣各リーダのレッスンを各學年、順序に配列し幾多の插畫を挿み譯文、注釋、字引を添へ殆んど此れ以上自修者指導の方法なき迄に親切丁寧の極致を盡して、英語教科書の自修參考書たらしめたる事

三 汽車、電車、散歩、休憩、往復路等極めて零碎の時間をも利用し活用して常にポケットにし携帶研究し得らるべき事。

四 第一讀本、第二讀本、第三讀本、第四讀本、第五讀本、各卷別冊 袖珍天金總クロース製二百五十頁以上 定價各冊金卅五錢 郵稅各冊二錢

ポケットホームリーダはチョイス、ロングマン、クラウン、ナショナル、スクール、ガリバー、ユニオン、大正高日等の各リーダとのレッスン對照表及見本進呈す

文學士長澤英一郎先生著 總クロース美製 紙數五百五十餘頁 定價金壹圓五拾錢 送料八錢

模範講義 ユニオン第四讀本

始めて期待されたる講義 全譯書顯る 親切にして明快英語研究者の見逃すべからざる好著最新刊發賣

中學上級生は勿論一般高等、學校專門學校受驗者の英語研究者中最も重要なる書は何かと問はゞ何人も一聲に……ユニオン第四リーダと答ふべし更にユニオン第四リーダは是が單に讀み物としても他の企及すべからざる絶大の特色を有し教訓と趣味と實益とを兼ね備へたる名著なり而もこれが爲め世間參考書として動かすべからざる特色を有す。方今受驗者の爲め世に出でたる參考書無きに非ざるなきも其金部を大成せるものを見ず本書は長澤先生が多年の努力と研究とに依り殆んど遂悟的に明快なる譯讀を教へ更に親切なる講義を加へられたるものなり

新カード式參考書

目錄

日本史 二函	東洋史 一函	西洋史 一函	日本地理 二函	外國地理 二函
地理概說 一函	英作文 一函	英文法 一函	英文解釋 一函	和文英譯 一函
算術 一函	代數學 一函	平面幾何 一函	立體幾何 一函	三角法 一函
國文法 一函	國文解釋 一函	漢文故事 一函	漢文難語 一函	漢文解釋 一函
生物學 一函	動物學 一函	生理學 一函	鑛物學 一函	物理學 一函
化學 二函	新白カード 一函			

各冊クロース製函入 定價各函 送料二錢宛

新カード式參考書の名天下に遍く國內の全土に傳播して學生の在る所カードを見ざるはなし、其カード式參考書も洋紙の暴騰に際し久しく諸君の要望に背きしが今や全部卅五函を整備して諸君の活用に便せんとす、來りて早速揃へよ然らざれば又々賣切れとならん

發行所 東京市麹町區富士見町 振替東京二八一〇六一番 研究社 賣捌所 全國各地書籍店

スワン萬年ペン

宮內省御用品 本品の眞價は既に社會に定評あり種々の名稱を附したる類似詐欺品多し本品の軸部にはSWANの英字刻印押捺せり

到る所の文具店に目下販賣中買ふ人の德なり 最寄販賣店に乞御用命 目錄無代進呈 大阪東區平野町二丁目 スワン大阪出張所

德富蘇峰氏著

近世日本國民史

著者曰く文章報國は予が晚節の天職也予は此天職を盡すべく畢生の事業として此著述を思立ちたりと

內容 (第一期 織豐及德川時代 / 第二期 孝明天皇御宇史 / 第三期 明治天皇御宇史)

『國民新聞』は七月一日より此の空前の大著を連載す

購讀料 一ヶ月六十錢 郵稅十錢

東京京橋 國民新聞社 振替口座東京三六三番

第五拾壹期決算公告

貸借對照表

借方(資產之部)

科目	金額
買附委託品	一九、七二〇、四三三・[illegible]
未著買附委託品	一二、一八七、九〇五・[illegible]
賣附委託品	五、八九四、〇四五・[illegible]
請收手形	一、八三〇、七二八・[illegible]
銀行預金	一、四五一、九四八・[illegible]
假出金	一、四二七、五五二・[illegible]
信認金	一、三九三、[illegible]
合計	八一、八二一、[illegible]

一金四百貳拾六萬貳千[illegible] 當期利益金

內
金八拾萬圓 準備積立金
金六拾萬圓 別段積立金
金六拾萬圓 配當準備積立金
金參拾萬圓 役員賞與金
金四拾貳萬五千圓 配當金(年貳割)
[illegible] 後期繰越金

右之通ニ候也

大正七年五月二十日

日本綿花株式會社

取締役社長 喜多又藏
常務取締役 山田[illegible]
取締役 末吉勘四郎
同 馬場義興
同 大岡破挫磨
監查役 南鄕三郎
同 竹尾治右衞門
相談役 志方勢七

前記ノ各項調査ヲ遂ゲ其正確ナル事ヲ承認候也

墺九個師團全滅す

墺太利の退却軍は多大の軍需品を放棄したり伊軍は敵の騎兵、砲兵及び飛行隊數千名を捕虜とし墺軍を切斷粉碎し其九個師團を全滅せしめたり(羅馬電報)

墺軍敗北と羅馬

墺軍が秩序を亂して退却したりとの報道は羅馬に於て最も熱狂的歡喜を以て迎へられたり昂奮せる群集は新聞賣子の手より爭うて號外を奪ひ珈琲店及び劇場には盛なる集會開かれ樂隊は喝歌を奏し群集は喝采せり地方に於ても到る處同樣の集會開かれたり(倫敦電報)

匈國新内閣成立

匈國新内閣は二十二日成立せり總理兼外務大臣マンノフ氏陸相は從來陸軍司令官たりしサワフ氏にして新首相は自由派の首領たり稍々親露的色彩を有す(ベルン電報)

全露勞兵農大會期

全露勞兵農會中央委員會は六月十日の會議に於て第五期全露勞兵農會定例大會召集期を來る六月二十八日と決定したり(莫斯科電報)

露都に入るを禁ず

ペトログラード政府は六月十五日より同市への入市を絶對に禁止すると共に日々十六列車(共收容旅客六千名)を發車せしめ同地引揚者の便に供しつゝあり(莫斯科電報)

セミヨノフ軍援助懇請

廿二日ホルワット將軍は齊々哈爾に鮑督軍を訪問してセミヨノフ軍を援助すると共に其の武裝解除を强行せざる樣懇諭したるに對し督軍は是を承諾せり(北京特電)

頼みの綱は日本のみ

長春滯在の松本代議士は哈爾賓に於てホルワット將軍と會見せり其際將軍は氏に語りて曰く、憂ふ可き露國の現狀を救ふは東洋の覇權を握れる日本あるのみ反過激派は日本に積極的援助を求めんとの決議を爲せり、我等は日本が出兵に依りて露國民を救ひ露國をして獨逸の毒手より脱せしめられん事を切望すと(長春特電)

鳳凰山鐵鑛問題協議

鳳凰山鐵鑛問題は陸軍部と日本政府の間に協議進行中にて日本は二千萬圓を支出して共同精錬事業を營む事に決せるも採掘權に就き尙一致を見ざるものありと(北京特電)

討伐軍邀擊準備

廣東歸來者の談に據れば、近來李烈鈞氏は陸榮廷氏と深く結び西南軍二箇師團を以て廣東を維持する決心にて莫榮新氏亦一箇師團を有し北方の討伐軍來らば之れを邀擊す可く準備怠る可らずと(北京特電)

總督首相訪問

長谷川朝鮮總督は二十六日午前寺内首相を官邸に訪問し所管政務の打合せを爲したり(東京特電)

兩取引所に停止命令

農商務省は名古屋、桑名の兩取引所に取引停止を命じたるが岡商工局長は語りて曰く『名古屋及び桑名兩取引所の標準米は東京、大阪兩取引所の標準米に比し遙に低位に在るに拘らず其相場は却て著しく高位に在り其表現相場は前期標準米と格下げ價格とを加算する時は孰れも一圓三四十錢高となる可きを以つて局員を派し詳細調査せしめたるに該相場は正當なる公定相場に非らざるを確認せるを以つて公益上斷然取引停止を命じたり(東京特電)

東京期米暴落

東京期米市場は二十五日前日の二十六圓七十錢臺より二十五圓九十錢臺に暴落し天候の順調麥作の良好に伴ひ目先安の氣配なるが此暴落の主因とも見る可きは神戸の金辰事鈴木商店が朝鮮各市場に於て買占めたる朝鮮米を賣に豆粕買占に警告を受けたるに鑑み俄に内地市場に放賣したるに依るものにて先づ堂島の暴落となり其の餘波蠣殼町に及べるものなりと(東京特電)

駐支米公使歸國

駐支米國公使ラインシュ氏は今回賜暇を得たるを以て家族携帶來る廿日北京發旅順に赴き家族を同地に遺し日本を經由して歸國の途に就く可く往復三箇月の豫定にて來月十日頃日本を出發す可し(北京特電)

岩崎男出發

岩崎小彌太男は二十六日午前八時半東京驛發朝鮮に向け出發せり(東京特電)

大倉男通過

大倉男は二十六日夜釜山を通過し歸東の途に就きたり(釜山特電)

臼井代議士

臼井代議士は二十五日夜長春出發朝鮮經由歸東の途に就けり(長春特電)

臼井代議士通過

西伯利地方視察中なりし代議士臼井哲夫氏は二十六日午後六時半安東通過南行せり(安東特電)

墺太利軍不振 聯合軍概ね善戰

△西部續攻か 佛軍はランス古領を目的とせる獨軍の攻擊をフォールラボムパルよりヴリニーに到る十五哩の正面に於て擊退せりと云ひ獨軍の再攻を想はしめざるに非ざるも這は單に陣地整理を目的とする局部戰に過ぎずして西部戰場は尙ほ引續き小康狀態を示せり然れども西部の獨軍が世儘攻擊を斷念す可しとは信ぜられず必ずや更に英軍正面に向つて續攻を試む可しとは一般に豫期せられつゝある所にして最近の外電に英軍が目下露國より使用し得る最後の兵員を西部に旋回しつゝあるの事實を傳へたるが如く夏季第三次攻擊の決して遠きに非るを窺はしむ

△主攻面轉換 唯だ西部續攻戰の開始せられざる今日戰局の中心は依然として伊墺戰場に在ると云ふ可く同戰場其の後の形勢を按ずるに墺軍の如き主力を傾倒せしカラツパ、モンテロ、諸山方面にては墺軍甚だ振はず概ね聯合軍の爲めに擊退せられたるのみならず却つて伊軍のブレンタ、アスチコ兩河間アシアゴ東方に於ける進出を傳へらる蓋し同方面は聯合軍に於ても最も重視して英佛軍之が守備に任じつゝありたるため墺軍の猛擊も遂に豫期の効を奏し得ざりしならん斯くて山地方面の戰勢漸く緩漫となれるに反しピアヴェ河畔の戰況は益々劇烈ならんとし現に十七八兩日間墺軍はヘセラダ及びカンデールに於てピアヴェ河を渡過せんとして失敗しフォッサルタよりカポシレ間に於ても間斷なき戰鬪の後多少の進出を遂げ得たるが如く墺軍は主攻擊正面を轉換して目下ピアヴェ下流に其の主力を注ぎつゝあり

△對伊政畧か 而も獨軍の來援を見ざる限り到底同戰場の大發展を期し難きことは屢々報道したる處の如く獨軍にして伊太利に再度の痛擊を加へん意圖あらば必ずしも西部より兵を割くに及ばず東部即ち露國内に殘存せる獨墺軍三十師團(六月上旬には獨墺軍を合して五十師團と傳へられたるが其後墺軍は伊太利戰場に獨軍は西部戰場に夫々若干の旋回を遂げたるが如し)中より其の半を旋回增援せば足らん然るに獨軍が敢て爰に出でず却て之を西部に移送しつゝありと傳へられつゝあり獨軍が西部戰を更に重要視せる爲めなる可きも亦伊太利に對する獨逸獨特の政略より打算せられたる作戰ならんかとも推せらる何れにするも獨軍の來援を見ざる限り墺軍の大進出は所詮不可能にして墺軍今次の攻勢は外電にも傳へられたるが如く國民の注意を内部の不穩騷擾より外部に向けん爲めの寧ろ政治的作戰なるやも計る可らず從つて墺軍の攻勢が果して何時迄持續するやは頗る疑問とせらる(廿三日東京)

管理米移入特許か

外米管理令により補償されし安價の外國米を朝鮮に移入する事は政府の特許を經る時は可能となり居れどその後某々有力商店にて外米朝鮮移入の許可を政府に出願せしも當局は容易に之れに特許を與ふる模樣なかりしが最近に至り農商務省外米管理部の方針稍變更されしものゝ如く近く某有力商店に外米朝鮮移入を特許する事となりしやの情報ありその理由は鮮米の價格調節並に鮮米の内地移出餘力を多からしめんとする趣旨にあるものゝ如しと

大阪より

△光珠輸出新販路 我國より製造輸出し居れる光珠は從來多く印度方面に限られ居りしが印度に於ける滯貨の著るしきと雨季の爲め輸出の不振より當業者は困憊を呈し小資本者は休業を餘儀なくせらるゝに至れるものありしが刻下の窮境より脱せんと努めたる結果埃及及び南洋への輸出を見るに至りし爲當業者は稍愁眉を開き市價も幾分引返しを告ぐるに至りたりと

△羽二重堅持合 羽二重は歐米方面の需要期に入り一時手控への英米佛濠洲其他の註文相當にまりしものありしと一面生絲好況の刺戟もあり隨分高値ながら五六十錢方の昂騰を示したるも歐米筋の買入一巡を了ると共に稍需要一服の狀となりたるが最近又歐米筋の買殘り註文など現はれ容易に相場は緩まず福井石川福島の各産地は羽二重好況の爲め著るしく生産力を增加せるも本月に入りては福島地方を始め農繁期に入り工女缺乏を感じ生産一割減は確かなるを以て供給は稍不足の狀なきに非ず隨つて相場は堅持合を示し居れり

△社債五百萬圓 大阪電燈會社は發電機增設、地下線埋沒、運炭船購入等事業擴張の爲め現在拂込濟二千百六十萬圓を四千萬圓に增資せんとして其許可を仰ぎたるも行惱みの狀なるを以て先づ五百萬圓の社債を募集して當面の支途に引當る事となり廿四日の株主總會に右社債募集を提案す(大阪)

鮮鐵經營報償問題 不日正式契約書改定を見ん

鮮鐵道は昨年八月以來滿鐵に委託經營する事となりたるも兩鐵道の會計は全然一箇なる爲め同じく滿鐵社員なるにも拘らず双方人員の遣繰を爲すにしても其々手續を經ざる可からず又機關車貨客車等を一方より他方の地域に乘り入るゝに當りては借用料を拂ふの手續を執る等人事、營業上不便尠なからざるを以て全然之れを統一經營するの必要を認め今春來朝鮮總督府及び滿鐵當局に於て協議を凝す處ありしは既報の如くなるが其後の經過を洩れ聞くに右は其趣旨に於て双方異存なき處なるも報償の點に於て一致點を見出す能はず即ち現在は委託經營契約書に依り滿鐵が朝鮮鐵道の委託經營に依りて生ずる利益が朝鮮總督府より鮮鐵に投せる總支出額の百分の六に達せざる時は損益共總督府の負擔たる可く

△百分の六以上に達する時は其超過利益を折半して滿鐵に附する事と成り居れり然るに今回の改正は鮮鐵も滿鐵の一部として經營し人員及び材料の遣繰等一切の經營を滿鐵にて引受くると共に收入の多寡は損益の如何に拘らず滿鐵は朝鮮總督府の總支出に對する一定の步合を常に總督府に對し報償せんとするものにて其步合に關し相互意見の間隔ありしも拓殖局當局に於て親和協定の結果總督府總支出額の百分の六に

△略ぼ協定成りたるが如く不日正式契約書の改定を見るに至る可しと尙經營統一後と雖も朝鮮に於ける鐵道建設改良費は依然總督府より支出し是を滿鐵に提供するは現在と異る處なく此點に於て何等豫算面に變更を來さゞる可し(東京特電)

金嶺鎭鐵山爭奪

最近の報によれば山東省なる金嶺鎭附近の鐵山は有望なる鑛區なるを以て其試掘權を得んとして本邦鑛業者の著目するもの多く就中久原大倉は最も熱心に其權利を獲得せんとし猛烈なる競爭中との事なるが久原は既報の如く同鐵山も本年内に十萬噸以上の礦石を採取すべき豫定にて近く民間に引繼がるべしとの情報あり久原鑛業會社の加藤内藤技師が本月七日以來數日間金嶺鎭に滯留して鐵鑛試其他鑛質等調査を爲したるは孰れも其邊の事情に原因するものゝ如く其引受運動に就ては大倉も既に調査したる由なれば兩社の猛烈なる競爭となるべく孰れか權利を獲得するか殆んど豫想する能はずと

蝟島石首魚況

全南蝟島近海より全北道延平列島までの漁期に出漁せるものは内地人佐賀長崎廣島其他を合して鮟鱇網四百隻内外鮮人二百隻に達し漁獲高は一隻最高三千圓より最低千二百圓迄にして總漁獲高十五萬圓に達し昨年の出漁船内鮮人を合し六百五十隻漁獲高十一萬圓なりしに比すれば四萬圓の增加にして右は本年頗る豐漁なりしと魚價昂騰せる爲めとにして是等出漁船は一部は安東縣へ轉漁し其他は内地へ引揚げたり尙ほ目下鰮漁期に入りて百隻内外の延繩刺網出漁しゐるも頗ぶる不況なりと

慶南の新蠶種

慶南道に在りては又昔を獎勵し來りしも今年よりは新蠶種をも獎勵し飼育せしむる方針なるが新種は品質良好にて目下の相場百十圓以上に取引されつゝあり新獎勵種は例へば歐一號同二號朝黃一號同二號朝白一號同二號の六種にして何れも配合種なり例へば支那特大廿號と愛赤熟に支那特大廿號との交配の結果朝黃二號を得朝白一號を得るが如く配合種にて一代のものなるが第二代の品質は一定し難きものなれば慶尙南道原蠶種製造所にては水原蠶業試驗場より原々蠶種の分配を受け之れに依つて原蠶種を作り之れを普通蠶種製造家へも配布し其の殘餘を以て普通農家の糸繭用の蠶種を作る方針なりと

◎長淵郡參事辭職 黃海道長淵郡參事韓重源氏は今回辭職したるを以て吳宗鍚氏新に任命されたり

悼宮川浩君 平壤妙心寺布敎所 大沼泰山

衆流截斷氣何豪。好手反爲水伯曹。獨擲上天投玉骨。大同門外日輪高。

人事消息

▲川口木七郞氏(兵庫縣選出代議士) 廿六日夜入京京城館へ
▲森國民氏(釜山實業家) 同上
▲宮ケ崎保次郞氏(東京相撲頭取) 同上天眞樓へ
▲井上直太郞氏(東京高田商會員) 同上山本旅館へ
▲瑞王之助氏(遞信事務局長) 廿七日朝退京

書畫百種

古書畫の流行は今や日本許りでなく外國迄も大流行であると共に愈々日本畫の價値が分明する▲殊に歐米各國では我浮世繪木版畫が非常に珍重されて居て紐育美術館で開かれたフレデリック五月大競賣などは近來稀な盛況を呈した▲同會の入札競賣中最高だつたのは歌麿筆『青樓三美人』で日本人大島某氏の手に落ちたが一枚の價格八百二十圓▲次に北齋筆『不二三十六景』の一枚が四百五十圓で米人フィーラー氏の手に落ち▲同じく『晴天の不二』が四百二十圓勝川春章筆『三代目瀨川菊之丞龍神扮裝の圖』が四百十圓にて何れも大島氏に歸し▲其他鳥居清長筆『素顏の二世市川門之助』が四百八十圓同『日本橋上の美人』が四百八十圓▲北野政信筆『青樓名君自筆集』が七百圓同筆『宴遊の圖』が四百九十圓▲細田榮之筆『弓術』が四百五十圓同『品川宴遊の圖』が六百四十圓で何れも米人好者間に落札された▲其他大小の入札數百點に達したとは本家よりも彼地が盛んならしい

社告

來る七月一日より從來の一頁十段を斷鑄五號活字十五字詰十一段に改め申候

大正七年六月

京城日報社

製鐵業の大勢 本年産額豫想

八幡製鐵所の如き製品工場完成遲延せらるゝの結果曩に掲げたる七年度鋼材生産額四十五萬噸も或は三十七八萬噸以上に出でざるべし[illegible]せらるゝあり而も價格は銑鐵市價より低脈なる等の矛盾もある爲め專ら製銑に力を注ぎ製鋼力を著しく減殺せるの傾あれば本年度の鋼[illegible]等の結果前掲の七十四萬五千噸以上に上るべき見込なり以上は現況に止まるも我國の製鐵事業は造船業の發達及び各種産業の勃興に刺戟せられ[illegible]るゝ事となりて戰前僅々廿數萬噸の生産額に過ぎざりしもの今や面目を一新して鋼鐵一百萬噸を超ゆるに至れり即ち最近の調査によれ[illegible]

然るに本年に入りてより時局發生以來著手したる民間諸會社の操業を開始するもの漸く增加すると共に八幡製鐵所の第三期擴張計畫も[illegible]

[illegible]

更に現在を基礎とし將來斯業の大勢を測定すれば左の如し

[illegible]

新家庭 七月號

□武者小路實篤の『女の眞の幸福とは』
□坪内士行夫人の『日本人の妻として』

△(歷史小說)むら雀……渡邊霞亭
△(長篇小說)巡禮歌……北島春石
△(哀切小說)吉祥寺……田村西男
△(戰爭小說)居所より逃れ來て……川路柳虹
△(法廷實話)生きぬ仲……今井藻水

□有効な婦人體力增進法(三島通良)

□やつをの稽(古歌新釋)……下田歌子
□子供に噓をつかせぬ工夫(自叙傳)……鳩山春子
□花々しかつた寶塚少女歌劇……月見草
□閨秀諸家の印象……鳥遊英保
□子供を喜ばせる暑中の運動服……戶板せき
□東京で評判のうまい食べ物……長谷川青峰
□夏の家庭で直ぐ間に合ふ飲料……資生水水
□暑さを避ける着物(此頃の流行)……平山蘆江
□夏の旅行品と別莊の室内裝飾……八代みよ
□涼風湧く夏の宵の盛花……安達潮花

宮樣方や上流家庭の美しい令孃たちの寫眞の外に新聞價値のある畫報と歐洲戰爭の戰地寫眞など何れも光澤紙刷四十頁

京都は川端龍子の畫の花鳥園田附鐵は伊東深水畫て何れも石版十二彩色刷 三色版は田中良畫寶塚少女歌劇舞臺面の美き油繪

婦人界消息 女學校通信

七月號 一部三十五錢 送料二錢五厘 六冊一圓七十錢

玄文社 東京芝區芝公園九 電話芝六六九七 振替東京一四一七

通俗世界歷史 第六編 伊太利王國

1 英吉利帝國 2 獨逸帝國 3 露西亞帝國 4 佛蘭西共和國 5 亞米利加合衆國

文學士 坂本健一君著

伊太利國は建國以來僅に五六十年なりと雖も、羅馬帝國の滅びてより伊太利王國の起るまで千數百年間の來由を知り、獨逸に對する聯合與國の一たる伊太利の過去現在を知らんと欲せば本書を讀まざる可らず。

大判洋裝 地圖及寫眞挿入 各四拾五錢 送料四錢

改訂 英作文の研究

立中敎學校長 元田作之進君著

本書は世に出でしより既に五版を重ね、讀者愈多からむとするに方りて、著者は其内容を整理すべき必要を感じ、增すべきを加へ、削るべきを除き、更に語句・辭字等をも修正して、茲に改訂第六版成る。英學生の良師たるは勿論、英作文を志す者の好參考たらむ。

中判洋裝上製 九拾五錢 郵稅六錢

史話と文話

東京帝國大學文科大學敎授 文學博士 萩野由之君著

著者萩野博士は、當代罕觀の碩學にして、其の蘊蓄頗る深く、殊に國史國文に精通し、且つ獨創的卓見に富む。此書は、博士が吾が國民一般に國史國文の趣味を鼓吹すべく叙述せられたるものにして、日本歷史上の史實と文事に關する所說五十篇を收む。機警なる批判、精透なる識見を行るに優麗簡雅の筆を以てす。史論あり、月旦あり、隨筆あり、咸なこれ金玉の名篇、一讀滋味雋味交々溺く、歷史研究者の資料、文藝愛好者の良友として洽く之を薦む。

大判洋裝上製布三五〇頁

東京本町 博文館

帝國史談會編 史實文華 忍ぶ草 天地人 全三卷

天金縮刷總布三卷特製本文總六號にて千二百餘頁 價金一圓八十錢

身を忠孝の矛盾に殺す英雄、命を妙法蓮華に托して毒を仰ぐ豪傑、閃の流盻に天下の治亂を決する美人、凡此種の史實と文華、字々悉く血、句々悉く淚、滴々として現代文豪數十家の筆尖より迸る、讀書界の驚異、出版界の駭目、大正文壇の最高レコードたり

內容見本無料進呈

發兌 東京赤阪 松本商會出版部

賣捌 京城本町 大阪屋號書店 吉貝儀平商店 其他各書店

……の機械類の延着及び內地に於ける鑛山工事材料の製造遲延等により操業豫定の如く進捗せざる事最近に至りて益々明瞭となり……設備豫定の如く捗らざるものあると旣設會社におりても原料銑鐵の市價著しく昂騰せるに拘らず米國よりは今尙一部の輸入（小型物）……字よりも減少すべきものと斷定せざる可らず、されど銑鐵のみは前述の如く市價の好況によると再製銑の生產に從事するものの增加せる……出により一層其度を添せるに至り八幡製鐵所及び民間旣設會社等は數次の規模擴張を行ふ一方

▲新會社所在 に設立せら……

內地　朝鮮　滿洲　[illegible]

左の如き數字を現せり [illegible]

◉五十年後の日本は

四千五百萬石の米が不足

◇考へねばならぬ食糧獨立!!

佛蘭西の革命は食糧問題に刺戟されて起つたし、又近くは露國革命の如き他に種々の原因はあるとしても其の原因の一をなして居るのは食糧問題である。曾て我が大使がペテログラードを引上げた時、十五匁の

▽黑パンが 一圓五十錢であつた事には大使一行が少からず驚かされたと云ふ事である。之れを以て觀るも現在如何に露國が食糧問題に苦しんで居るかを知る事が出來る、現今列國では食糧問題を研究し、食糧獨立を叫び一般國民も食糧に恐怖の念を懷いて居る。英國は從來自由貿易を商工主義に重きを置いて居たため國內から得る食糧は僅に英帝國を

▽七十日間 しか保つ事が出來ない。依つて其國の海軍の助力に依つて外國から食糧品を得て居た處が獨逸の方では其の航路を潜航艇を以て壓迫したる爲め現今では食糧問題に苦しんで居る而して其の困難の程度も富豪が其庭園地に麥を作つてゐると云ふ一事で知る事ができる、日本人の常食たる米は一年

▽約一石を 要するものであるが明治十五年に於ける日本の米の生產額は三千五百萬石にして之に對して人口が三千五六百萬人であるから人口一人に對して米一石にあたつて居る。其の後米の產額の增加と共に人口も增加して最近の調査に依ると米の產額五千五百萬石に對して人口五千六百萬人であるゆゑに未だ食糧問題に苦しめられる樣な事はない。而して五十年後に於いて我が食糧問題を想像するに過去の增加率に依つて統計を取つて見ると、人口

▽大約一億 に達するであらう、人口一人に對して米一石を要するものとすれば、一億石の米が必要である。現在の產額五千五百萬石にしても四千五百萬石の不足を生ずる結果になる。從つて今日より此の缺を爲して置かねば五十年後には、必然に四千五百萬石の食糧不足を生ぜねばならぬ。併したがら現在田園に對して肥料害蟲の防止其他の點を研究努力すれば、約

▽四割增收 を得る事が出來る。未だ交通其他の不便に依る未開の土地も百八十萬町步あつて是等が一度田園となる時は、之に依り千六百萬石の米を得る事ができる、又朝鮮臺灣より產する額も增加するから是等を加算したならば一億の米を生產する事は必ずしも不可能ではあるまい、併し乍ら之には國民擧つて大なる

▽研究を積 み、十分の努力を必要とする、之さへ實行が出來れば、日本は五十年後に於ても食糧問題—尠くとも米丈けは困る樣な事はなからうと思はれる

◆もう朝顏が……（二十六日本社撮影）

◉富士山へ自動車が

通ふ樣になつた

富士山東表御殿場口開山式は愈々七月一日と決定したが同地の有志者福島一藏氏外數氏發起の下に登山者の便を計り御殿場淺間神社裏より馬返し間乘合自動車を運轉すべく旣に其筋の認可を得て試運轉を行つた其結果頗る好成績を得たれば愈〻開山式當日より營業を開始する筈である尙諸物價暴騰の結果本年度富士山內休泊料及び强力乘馬賃其他一般の物價は二乃至三割かた値上げをした相である

◉不正衡器

＝に注意せよ

どんな商店がどんな惡いことをする　直段のみでなく量目も見よ

取締を嚴重にする

去る五月六日より十一日に至る六日間本町警察署管內に於ける度量衡器檢定の成績に就て當局者の談を聞くに旣往の成績に比すれば稍良好に赴き今回は殆んど

◆◆革新 せられ居るが如きも間々法規に牴觸せるものあるは遺憾とする所にして其重なるものは

一、市內有數の石炭商にして使用臺秤の百斤增錘（玉）の裏面に穴を穿ち目方を瞞著し居たるもの

一、運送店にして衡器の破損せる荷物を計量し居たるもの

一、鐵工業者にして臺秤要部の一部紛失したるを自宅工場にて之を造り居たるもの

一、鮮人野菜商にして木製桿秤の要部破損せるを自ら之を修理し之が爲二十五貫に對し約五百匁の差を生じたるもの

一、蹄師にして天秤其の他秤の破損せるを自ら修理し爲に目方に於て非常の差を生じ居たるもの等あり是等は

◆◆使用 者に對しては本町警察署に呼出し深く其の不心得を諭し今回に限り特に處分を見合せたるも今後は益々取締を嚴重にして違反者に對しては假借なく處罰せらるる由なれば一般使用者は常に注意を怠らず計量上不充分と認めたるときは直ちに

◆◆龍山 元町一農商工部商工課分室に持參修理する方得策なるべし因に度量衡器は完全なるも之を使用する場合に注意を缺くときは計量の結果不正確なるは免れざる所なれば充分使用上注意を要すべく其の他物價騰貴に伴ひ故意に減量して

◆◆瞞著 する者あるは之に對しても今後益々取締を斷行せらるゝ由なれば商人に於て注意す可きは勿論一般家庭に於ても物品購入に際は唯其の値段の高下に注意するに止めず尙計量の當否を充分吟味するは極めて必要のことなる可し

◉尻拭は朝鮮

東京大連間電線（數年後に完成）

服部京城郵便局長曰く『東京大連間は從來佐世保經由の海底電線一線に過ぎないそれも二箇月に一度位ゐは故障が起るので其尻を朝鮮で拭はねばならぬので閉口して居る一體滿蒙發展の使命を持つて居る滿洲方面の居住者があのボロ線に依賴つて今まで默つて居たと言ふ事は迂濶極まつた話で尠く共今度新設さるゝ線は

◆滿蒙開發の前提 として疾の昔に施設されて居らなければならぬのである滿洲の電線は大石橋以南は大連佐世保間の海底電線に依り以北は朝鮮經山の陸線に依るのであるが每日平均取扱數六千通の中其大部分は大石橋以南で占めて居るから目下の處では一日の平均二千通位ゐの能率しかない海底線で

◆二千五百通以上 も取扱つて居る程である、それも平常の時はよいが一朝故障が起るとみんな朝鮮を經由せねばならぬのでさなきだに輻輳を極めてゐる朝鮮の電信は益々遲れる許りで甚しい時は三時間から五時間も遲延する事があるそれが爲めに京城局の電信係は百名もあるが病人が頻發し

◆常に手不足を生 ずるので非常な迷惑を蒙つて居る右のやうな次第で東京大連線は朝鮮に取つては重大の意義を有するもので吾々は痺をきらして完成の日を待つてゐる

◉巡查が足らぬ

＝臨時に採用試驗を行ふ＝

志望者は急げ

近來內地の景氣が煽り立てられるやうによいものだから少々な安給などでは態々朝鮮迄渡る必要もないといふものか、二三年前迄には每期八十名定員の募集每に數百名に餘る志望者があつた朝鮮の巡查採用試驗も此の頃は俄に減つて現在では朝鮮地內に百七八十名の巡查が缺員となつたる以前は巡查になる者は

△先づ朝鮮を 指して集つて來た者だが物價の騰貴に伴つて內地でも巡查に臨時增俸を爲し彼是の收入を加へれば初任者でも目下十圓近くの月收がある朝鮮は夫れより十圓位は多いけれど僅か十圓ばかりの差では態々內地から渡つて來なくとも內地の各府縣で引つ張り凧の有樣だから全く朝鮮や滿洲あたりの巡查志望者が減切り尠くなつた

△一般世間で も夫れ丈け遊んで食つて居る者が無くなつたやうなものだが夫れに從來辭官になつてゐた人々も別に口を見付けて退職するやうな向きもあり旁々で警官練習所では此の補缺の爲め道同臨時に四十名の巡查を採用することになつた、其の採用試驗を七月十日に施行の筈で希望者は此の際至急に願書を提出すべしと言ふことである、而して八月上旬には普通の採用試驗が施行して定員の八十名を採用することになつて居る

△是に就いて 松井練習所長は語る、朝鮮でも斯樣に巡查志願者が減つて來ては內地に比較して相當に給與を增すか其の他の待遇を改めるとか何とか途を開ける必要がある、尤も目下八十名は練習生として入所教育中であるから這回臨時に採用すれば如何にか補つて行ける譯である

ぐう東京大相撲乘込　（上）向つて左より鳳、千葉ケ崎　大潮（下）驛前の群衆

◉東京大相撲の

盛なる乘込

南大門驛附近の大混雜

東京大相撲鳳千葉ケ崎一行は旣報の如く二十六日午後七時四十分著の列車で華々しく京城に乘込んだ鳳、千葉ケ崎、大潮、三杉磯、錦島、藤ノ川、大戶平等の各幕內力士を始め峰崎、花籠の兩檢查役、行司勘太夫、以下の一行五十餘名は

▽何れも元氣 で列車が著くと同時に威儀を正して下車、驛には勸進元を始めとして京城料理屋組合、サッポロビール關係者、大潮後援會の代表者等は何れもサッポロビールの小旗を立てたる

▽腕車數十臺 を連ねて南大門通りより本町筋を過ぎてそれぞれ各指定の旅宿に入りたるが驛前より本町通りに至る沿道には見物人垣を築きて盛に歡迎したり

◉兩飛行協會合併

總裁に久邇宮殿下を　會長に大隈伯を戴く

帝國飛行協會及び國民飛行協會は二十五日合併に決したるが久邇宮殿下を總裁に戴き、會長に大隈伯副會長に阪谷男、長岡中將就任し所澤に於ける飛行協會格納庫、飛行機等は近く東京附近に移轉せしむる計畫なりと（東京特電）

▽涼しい姿の

關取衆　列車內の賑ひ

東京大相撲を乘せた列車を永登浦まで出迎へると蒸されるやうに暑い車中には鳳が襦袢一枚の涼しい姿で峰崎と向ひ合つて神珍本を讀み耽り千葉ケ崎は花籠と相對して巨軀を横たへ大潮は

▽別の二等室 に小牛田山と共に納まり三杉磯、琴ケ浦、錦島の三人は一塊りになつて雜談に興じ合ひ大戶平、藤ノ川は寢轉んでゐた、一行中で曾つて當地に來たことのある鳳、錦島、峰崎、花籠、勘太夫等は何れも京城には馴染のこととて

▽京城の話に 花を咲かせてゐた、三等車の方には肌脫ぎになつた連中、襦袢一枚、浴衣がけの所謂惹姑のとつて連中が盛んに拳を打つたりウヰスキーを煽つたり賑かだ、汽車が永登浦に著くと錦島の所へ同驛の秋田縣人がドカ〳〵と這入て來て

▽歡迎の辭を 述べてゐる龍山まで來ると鳳贔負の龍隱軒の親爺が顏を出して出迎へる、南大門へ著くといふので著替へをしてゐた關取連中が俄かに居住ひを直して待ち構へる內に南大門驛に著いた

◇力士のお芽出度

＝九州山と兩國＝

東京相撲東方大關九州山十郎は新橋の新嬉々の女將佐藤ふさ（二三）と、關脇兩國梶之助は下谷分茶亭の豆奴事梅村はな（二〇）と何れも晴れて夫婦となり、樂しい新世帶を作つた、九州山の方は廿五日午後六時から築地精養軒で結婚式を舉げ引續て披露宴を催し、又兩國の方は、廿七日午後六時から上野の常盤華壇に於て結婚式と披露の宴を催す事となつた（東京）

▼相撲開場

二十六日夜乘込みたる東京大相撲一行は同日午後より市中に觸太鼓を廻したるが愈々二十七日より明治町東拓前空地に於て開場すべし

◎芳蘭會の事業

京城女子技藝學校卒業生は二十五日同校に於て會合從來の卒業生を糾合して芳蘭會を組織し會員の親睦趣味の向上を圖るを以て目的とし會長に川上校長を推戴每年一回總會を開くこととし前記の目的を達する爲め（一）知名人士の講話を聞く事（二）會員相互の談話茶話挿花等趣味ある娛樂をなすこと（三）謠曲若くは刺繡の業をなす等の規定しあり現在會員は二百餘名なるが、會員はそより先母校にオルガン一臺を寄贈したり

◉山口縣人會

京城山口縣人會は二十八日午後六時半より清華亭に於て開會の筈なるが會費三圓五十錢なりと

全南關係者懇親　京城在住の全南人にして……[illegible]

公告
一、暗渠築造工事
右來ル六月二十九日入札ス希望者ハ當府門前揭示ヲ見ヨ
京城府

拂下公告
一、牛血九千五百貫
來ル七月二日午前十一時入札ス希望者ハ當府門前ノ揭示ヲ見ヨ
京城府

領收證紛失公告
一、當社第壹回拂込株式金領收證壹枚
金貳萬五千圓也（千株分）
合名會社茂木銀行取扱
號第參拾貳號尾澤家名義
右紛失ニ付來七月六日迄當會社へ屆出ナキトキハ無効トス
大正七年六月廿五日
京城府永樂町二丁目
朝鮮紡織株式會社

山口縣人會
來ル六月二十八日午後六時半ヨリ京城若草町清華亭ニ於テ本會總會開催致候間御繰合セ御出席相願度候也
一、會費金參圓五拾錢當日御持參ノコト
一、多人數ノ事故通知洩レノ向モ計リ難ク此ノ廣告御覽ノ上御誘ヒ合セ御出席被成下度御出席ノ有無ハ廿七日迄ニ清華亭へ御一報被下度候
在京城 山口縣人會

東洋汽船株!!
六割配當豫想
大阪商船株今回六割配當を確報し一躍七十圓の暴騰今又東洋汽船株も六割を豫想す蓋株時價百五十圓株とも……して二割の好利廻りに當り又汽船株は戰後二三年間は尙有望と信ず此際多大の買餘地あるものと御推奬仕候

有價證券現物賣買
新田耕市商店
京城櫻井町一丁目
電話 五七〇番 一八八一番
◉御用の節は御通知次第早速御伺ひ可申候尙御持株に對し御希望に依り七掛又は八掛迄低利融通可致候
■成功する近路は貨殖法の撰擇如何にあり
■貨殖法の撰擇は現物を賣買するの外なし
■現物賣買は信用ある店を利用するに限る
■弊店は絕對に不信不誠實の行爲を爲さず

◎賣品廣告
米國製
◎鐵製寢臺 二人寢二臺
スプリング床
◎鐵製寢臺 一人寢二臺
◎◎木製寢臺 一人寢一臺
◉古ワイヤロープ 二千尺
スプリング入蒲團附
意想外の安價にて賣却す
◎瓦斯管 三二時半 二時 各種
◉ウオシトンポンプ 二臺
◉シンキングポンプ 一臺
英國製
◉ガソリンエンヂン 六十馬力 一臺
◉バブコックボイラー 一臺
氣壓百五十封度 火熱面六百十二
其他器械附屬品
右廉價賣却仕候也
京城山元町二丁目
金物商 二三通商店
電話三三七番振替京城[illegible]五番

內科 小兒科
村上病院
京城永樂町一丁目（商品陳列館前）
院長 醫學士 村上龍藏
電話六二三番

鑛山、灌漑、排水 喞筒
東京鋼鐵株式會社
東京製鋼株式會社
中根式鑛內用押揚喞筒製作發賣元
〇唐印八角鋼朝鮮發賣元
京城南大門外 電話一〇〇四番
京城岡崎町 電話二六五番
朝鮮總代理店 中根商會
中根工場

京城電氣會社製
コールタール
特約販賣
龍山漢江通り八
電話四九番
金物商 島田忠作商店

銘仙ゆかた地
新荷着
◉白地、及び染色地で、かすり、縞、格子類
輕くって涼しいその着心地を味ひ給へ
一反 金拾圓より 金十三圓迄
●送料 鮮內十二錢 鮮外三十錢
◉地方よりの御注文は男女年齡柄向き御嗜好等御申越し下されば必ず適當の柄相選み代金引替を以て御送り可申候
京城太平通一丁目
振替京城三〇〇番
京城日報代理部

內科 眼科 小兒科
本田醫院
京城黃金町三丁目赤門通（電車停留所前）
院長 本田建[illegible]
附屬 京城肛門病痔疾療院
入院隨意
肛門病の話 痔疾特種注射根治療法解說書入用の方郵券十二錢要す
電話二四四三番 振替京城三二八番

輸入創始明治四十四年
オキシパサー
本器は科學界の泰斗マイケルファラデー氏の發見唱導に係りダイヤマグネチズムの原理に基く大氣中の酸素を利用して治病に應用し……
效力永久にして器械代以外藥品等の費用を要せず使用簡便にして何等の危險なく婦人子供にも容易に使用する事を得……リウマチス神經痛……
神經病心臟病糖尿病腎臟病肺病呼吸器病……人諸病に效果あり實驗者の報告書は申込次第無料贈呈す
本器の生命は分極器にあり外觀の似たる模造品を買ふは鉛の貨幣を掴むに等し切にパサーの名に御注意を乞ふ
東京丸の內 大日本オキシパサー商會謹告
定價金參拾九圓
京城本町二丁目七十一
特約店 酒本高明商店

內科 小兒科 入院隨意
小林醫院
京城旭町一丁目（電話九六二番）
院長 醫學士 小林千壽
副院長 東北醫學士 久戶川武次
永登浦分院長 醫師 保廣

妻の心 二十

小林蹴月作 武内桂舟畫

（四）の五

逗匿いきさつから、つと長宅を立ち出た町川は、故意に人目を避くる爲めであらう、木立の深い靖國社の、特にさびしい黃昏の境內を脱けて、九段上へ來てから、初めて一臺の俥を雇つた。そして、一直線に駿河臺の自邸へと走らせたのであつた。

理窟の奈何は姑く措き、嘘を吐いて五日間のその餘も我が家を外にして居た彼に取ては、我が家ながら我が家へ入るのが、餘り感じの好いものではなかつた。威張つて勢ひ好く乘込まうか、それとも柔順しく素知らぬ顔に、平生散歩からでも歸つて來た時と同じやうな態度で、內玄關の方から歸つてやらうか……それは何方にしても只さへ陰鬱極まつた體子が、病氣と云ふからには、一層暗い寂しい顔をして出迎へるに違ひないのであるが、その時乃公は第一番に、何と云つて語をかけてやらう？豈夫に彼の口やかましい姑までが、其處へ出洒張つてつべこべ云ふやうな事は有りは爲まいが、それでも、萬一出洒張つて來たらば、何と云つて切りぬけてやらう……と何ぼ無頓著主義の町川でも、良心の咎めは恐しいもので、俥上ながらに、左つ右つの思案を運らして居る間に、俥は矢の如く走つて、早くも我が本邸の袋町の入口を曲つた。

小川町までは、電燈瓦斯の眩い光りが、華と競ふ商店の軒を照らして、白晝をも欺むく明るさであつたが、袋町の角から曲ると忽ち穴倉へ入るやうな暗さである、町川は、分りきつた事でありながら今日は就中て穴の中へ引込まれるやうな心の陰鬱と氣味わるさを覺えた。寧その事、お芳の許にもう少し長く居て、深更にでもなつてから歸れば好かつたと思つた、併しながら、何の道一度は歸らねばならぬ我が家である。主人公たる自分が我が邸へ歸つて來るのに、何の不思議があらう、姑だつて體子だつて、愚圖々々云ふ所はない筈であるとも思ひ直した。

『おい、車夫、其處でよろしい。』

辻俥の輕便さには、若干かの錢を與へて、町川は、徐かに俥を降りつゝ、洋杖を抱へてこつ／＼自邸の方へ向ひかけると、突然後方からライオンの如き叫びを發して、日月の如き二ツの大眼玉を光らして、宛然自分を追跡けてでも來るかのやうに、一臺の自動車が突進して來た。町川は、慌いて道を避けたが、その途端、何の氣もなく乘人の顔を覗くと、勿論明瞭とは分りかねたが、什うやら例の櫻井のやうであつた。

『やツ、櫻井の奴らしいぞ、彼奴ならば無論乃公の邸へ行くに違ひないんだが……うむ果して乃公の門內へ入りをつた。』

町川は、何がなしに櫻井の爲めに、機先を制せられたやうな一種の不快を感じたが、然ればとて、自分の邸へ自分が歸らずに居る事は出來ない。

『逗匿よ、當つて碎ろとやらだ。』

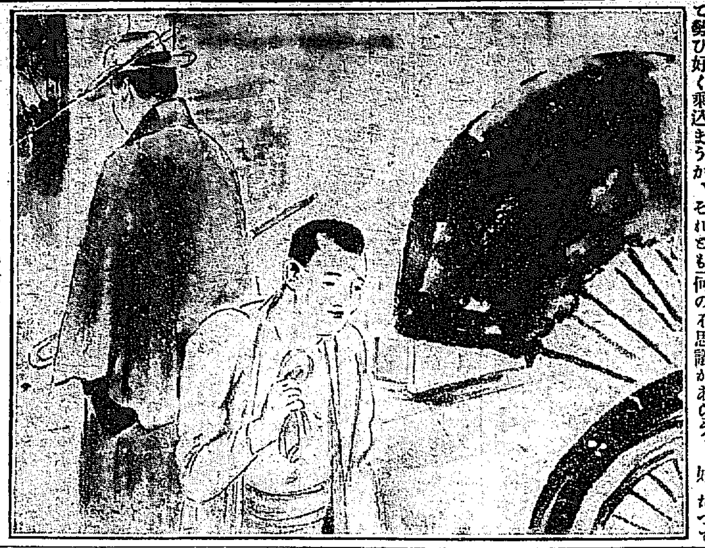
到頭最後の意志を定めて、自動車の後からひよつこり我家の玄關へ立ち現はれたのである。

『おツ、旦那樣がお歸りに……。』

恰も自動車で乘込んだ櫻井を出迎へて居た古參のお傻を始め、一二の女中どもは、頓狂と云ふよりも寧ろ呆氣に取られて、死んだ人が蘇生つてでも來たやうな驚愕の眼を睜つた。中には、櫻井順太郎が主人公を一緒の自動車に載せて連れ歸つたものと思ひ違へて居た者さへある。

『驚いた。町川さん、今お歸りなんで……』

自動車から降りて、玄關へ上つたばかりの櫻井も、主人公の姿を一瞥すると同時に、逆からず面喰つた調子で、例の猪口才的の眼をきよと／＼。——何等かの問題が惹起らずには濟むまじき不穩の形勢は、もう此の時から双方の眼と眼の光にほのめいて居たのである。



◉出雲ぶし 京城旭町一丁目 電話二八五番
今日も夕餉は『まむし』ときめて電話かけましよ出雲屋へ

補血強壯のふり出し藥 婦人病の妙藥
人參煎 一日分十錢 十日分九十錢 廿日分一圓七十錢
京城府大門通二丁目 朝鮮化學製藥株式會社 電話一三六番

□虎耳令弟の逝去を悼む

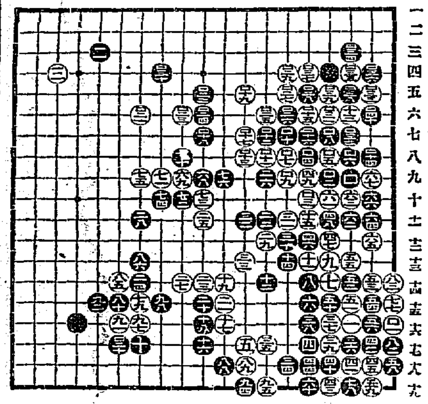
神の夏雲我魂も遠く遊ぶよ　烏室
夏雲のうすれ行く方魂去りぬ　靑牛
鵬に涼風打たせ神去りぬ　大痴
夏の月盥にや乘り給はむ　目池
俊治が上天を詠む
神去りて仰ぐ夏雲疊る也　虎耳

□麗水より　靜軒
麗水は活氣ある港にて候、而して棉の港、水產の港にて候。
山畑や海風に麥を刈る人等

碁戰（七）

（大正七年六月九日 於園芥大會）
四段 齋藤賢德氏
二子 白南圭氏

○一二一 ヲの六　●一二二 ヌの五　○一二三 ルの六　●一二四 ヌの六　○一二五 トの六　●一二六 への六　○一二七 への五　●一二八 ホの五　○一二九 への四　●一三〇 チの四　○一三一 ニの六　●一三二 への七　○一三三 ロの五　●一三四 への三　○一三五 ハの四　●一三六 ロの四　○一三七 ホの四　●一三八 ハの五　○一三九 ニの五　●一四〇 ロの六



新刊紹介（到着順）

海南にて 山桑のいたく摘まれて五月晴

▲實地法律通信學校速成科教授錄 古賀法學博士を校長に横田磯部の兩法學博士を顧問として通信に依りて一般實用の法律を教授せんとする趣旨になるものなり（月一回發行一箇月六十錢 東京神田區代町七 實用法律通信學校）

▲娛樂世界（六月號） 口繪寫眞等數枚講談としては赤穗の安兵衞（松鯉）將棋の殿樣（小さん）短の槍試合（馬琴）河童お新（燕朝）乳小僧彌ちやん（如燕）ぶくりん（桂玉）身替裁判上田の宮五郎（右圓）太平記忠彌の召捕（如燕）俗山騷動伊達の三夜（燕山）笠ヶ森六助殺し（伯圓遺稿）露小說呪ひの力（赤陵）官員小說天職、其他珍說趣味記帳、紙帳から美い女役者とチリ帳、世界一のちから [illegible]

▲大正百家百題選集 [illegible]

▲日本の關門（三三） [illegible]

▲フースヒー（五八） 五錢 東京 [illegible]

▲婦人週報（四ノ二三） 五錢 [illegible]

讀者の領分

[illegible] 小生が二十一日の午後二時頃に黃金町一丁目から光熙門行の電車に乘つて行く途中で小生の隣に居たかすりの單衣を著た一靑年が永樂町停留場で降りたが其の跡にがま口が有つたので早速車掌に屆けて置いたが [illegible]（〇△生）

▲懇切なる軍司令部へ御伺ひ致しますが本年度より徵兵檢査の結果第一乙種に合格せるものも [illegible]（歩一乙合格生）

▲ [illegible] 朝鮮へも夕立的の降雨が [illegible]（自然の子）

商業登記

合名會社開城會社ハ出資額增加シタルニ依リ各社員ノ出資額ヲ左ノ如ク變更ス 金拾參萬千六百武拾五圓朴承鉉、金拾壹萬四千圓金錫煥、金百五拾圓高壽厚、金七萬七千圓金鶴基、金五萬七千圓鄭載東、金武萬八千五百圓崔基昌、金五千圓李奎弘、金參千圓金麗煥、金八千五百圓馬承圭 [illegible]
右大正七年六月武拾四日登記
京城地方法院 開城支廳

京日案內

▲申込後中途廢止の節は料金不返戾 ▲六ヶ月以上の御申込は特に割引す ▲御照會は返信料の添付なき時はお答へ致さず ▲御申込は必ず數字の行數を記入されたし
普通 五號一回 二十錢
番外 一回前金 [illegible]

◎五號金庫賣却す 希望者は 電話一六三九番 255

◎看護婦至急入用 希望の者は履歷書 龍山元町二 鐵道醫院 電話二〇四番 256

急告 仕募集 特參あれ 株式會社漢湖農工銀行 259

禁酒 禁煙 藤川重弘

募集 事務員二名 二十歲より三十歲迄 店員三名 十四五歲より二十歲迄 履歷書送れ [illegible] 丁字屋洋服店

◎左官用布海苔 諸種 草鞋 銀杏草 金物 全羅南道木浦府 山本萬次郎商店 149

◎寢台車 患者輸送致す可く候 安價 永樂町二丁目 電話一六八九 岡本組 217

舊恩給 立替 五ヶ年年迄利子 月一歩二厘 本人直接 取引 櫻井町一ノ一九八 博多屋本店 長電二五〇番 201

外勤社員募集 京城永樂町二丁目 愛國生命保險會社出張所 面談 履歷書乞送附 260

愈好評の經濟的事務用 パインビジネスペン（金ペン付） 定價壹圓九拾五錢 京城太平通一丁目 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

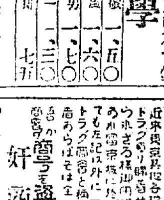
流行發袴

▲特價金拾圓也 送料 [illegible]
絹毛にして新流行縞物四種 世間ありふれたる內地製品にあらず
京城太平通り一丁目 京城日報社代理部 電話長六〇九番 振替京城三〇〇番

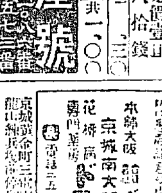
最新刊

醫學專上學立論文 [illegible]
亞細亞大觀 [illegible] 二、〇〇
支那の眞相 大河平隆光 一、九〇
社會教育通俗講話 加藤咄堂 一、〇〇
◎最新藥物學 定價參圓六十錢
圖書館教育 田中敬 一、五〇
教育者のための哲學 稻毛詛風 一、六〇
ヒユーム人性論 太田善男 一、七〇
世渡りの修養 [illegible] 一、三〇
常識作法 [illegible] 七五
◎珠算精義 定價壹圓八拾錢
長壽天然養生法 村井弦齋 一、〇〇
京城本町 大阪屋號 振替京城二五七三番
（本店）東京（同店）大連、旅順、鐵嶺、釜山

總督部御認可 衞生無害
取散



イヤナ
室內の空氣中に少量を撒布せば十分間にして死する事は保證す 此れより早き法なし 蠅 [illegible]
京城南米倉町 交番所前 島田藥房
▲特約販賣行商希望の方照會乞



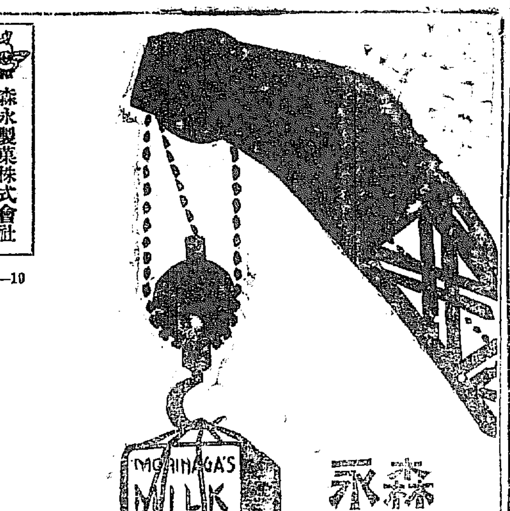
りん病には妙藥 [illegible]
京城南大門外 ドラッグ商會 [illegible]

京城龍山等各地に僞物有御注意 詳細は本月六日本紙を御覽

淫羊藿エキス

淫羊藿エキス 通稱三枝九葉草エキス 人參に優る滋養強壯劑
主効 神經衰弱、貧血症、肺病 [illegible]
定價 廿瓦入金壹圓 卅瓦入金壹圓五十錢 四十瓦入金壹圓九十錢 五十瓦入金貳圓三十錢
送料 府內二錢 外三十錢
全一手販賣 國合資會社 京城日報社代理部 朝鮮京城府大平通二丁目 電話長六〇九番 振替京城三〇〇番
京城特約店 山岸天佑堂
京城特約店 北島支店

資本金壹百萬圓
京城 株式會社 漢湖農工銀行 支配人 遠山熙
不動產抵當ニテ長期低利ノ貸出致候
支店所在地（開城、春川、大田、公州、江景、清州、忠州、論山、鐵原、鳥致院）
普通銀行業務は確實親切に御取扱可申候



森永 ミルクキャラメル
の聲價は今や嚇々として世界の市場に響く
見よや向上せる製法！品質！
そこに科學の權威ありそこに信用の力あり
森永製菓株式會社
7—10

湯上りに
一滴ですぐ白くなる
純白美乳
命盥、石鹸、タオル、梳——それから今一つ最も大切な純白美乳を用意してお風呂へ——風呂行なれば潔く、粹に結んだ柳腰、番臺の亭主はいつもの小町が浴りに來たと莞爾被居いの聲も高い、さても其の湯上りに一滴塗けた純白美乳は日本に初めて出來た美乳の姉妹美容料だけあつて洗ひ清めた皮膚の生地から白く美くし女湯のすべての視聽が期せずして其の人の上に集るほどのりうとした化粧栄
家庭では……朝夕美乳。
外出の時に……純白美乳。
定價 美乳 貳拾五錢 純白美乳 參拾錢
本舖 大學目藥本店 矢野芳香園

朝鮮郵船出帆

天候其他事故ノ爲メ發着日時變更スル事アリ 各地支店出張所代理店ニツキ御承合被下度シ

○敦賀行 清津發城津元山經由 平壤丸 七月一日清津發 七月四日元山發
○浦汐行 大阪發門司釜山元山城津經由 越後丸 六月廿五日釜山發 六月廿七日元山發
○雄基行 釜山元山經由 雄基丸 六月廿四日釜山發 六月廿七日元山發
×雄基丸 咸鏡丸 七月三日釜山發 元山發
○元山雄基線 元山起點各港經由 鏡城丸 六月廿五日元山發
○大阪行 釜山門司經由 越後丸 七月五日元山發 七月五日釜山發
○金剛山遊覽便 元山發長箭行 鏡城丸 六月廿九日元山發
○釜山浦項線 釜山發各港經由 昌德丸 六月 日釜山發
○濟州島行 江陵丸、襄陽丸 每日釜山浦港發
○濟州島行 昌平丸 六月廿六日釜山發
○東廻 西廻濟州島行 慶興丸 六月廿九日 六月廿六日木浦發
○釜山麗水線 海州丸、互濟丸、統營丸 每日釜山麗水發
○木浦麗水線 順天丸 六月廿五日木浦發
○多島海行 慶興丸 七月二日木浦發
○木浦行 仁川發各地經由 全州丸 七月八日仁川發
○海州行 仁川發江華島各島經由 錦江丸、成歡丸 每日一回仁川海州發
○鎭南浦行 仁川發各港經由 晉州丸 七月三日仁川發
○靑島行 仁川發各港經由 江原丸 七月二日仁川發

（○朝鮮鐵道及社外船ト荷客連絡運送ノ便アリ）
本社 京城南大門通（電話一九五二 一二三一）
釜山港佐藤町 釜山支店
元山港海岸通 元山出張所
仁川港代理店 堀回漕部
木浦港代理店 小野回漕部
京城荷客取扱店 京城南大門驛前 松原運送店（電話長一七〇番）
（其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ）

寫眞 寫眞、引伸、撮影、製版、銅版、亞鉛版 迅速と叮嚀懇切を旨とし御高評を乞ふ 京城日報社寫眞製版部

下期米 廿六日後場（高値見込買進む） [illegible]
大阪期米 二十六日前場 [illegible]
大阪期米 二十六日後場 未著
間を往來し四箇五錢あつて四錢止
△後場當限出來不申
△中限二十三圓二十五錢
△先限二十三圓七十三錢 [illegible]
後場 寄付 止 高値 安値 [illegible]